

目黒区障害者計画策定に関する 調査報告書

概要版

この冊子は視覚障害等のかたのために音声版（デイジー）もあります

令和5年3月

目 黒 区

目次

第1章 調査の目的と概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の方法と回収状況.....	3
3 報告書を見る際の注意事項.....	3
4 標本誤差について.....	4
第2章 調査結果概要.....	5
1 障害者向けアンケート.....	7
あなたのことについて（問1～問7）.....	7
日頃の活動のことについて（問8～問12）.....	21
地域の活動への参加について（問13）.....	27
将来の暮らしについて（問14）.....	28
医療について（問15）.....	29
就労について（問16～問17）.....	31
コミュニケーションや情報の入手方法について（問18～問20）.....	34
福祉サービスについて（問21～問22）.....	37
福祉のまちづくりについて（問23）.....	39
防災について（問24～問26）.....	40
相談について（問27～問29）.....	43
権利擁護について（問30～問34）.....	46
障害がある人のための取り組みについて（問35）.....	53
2 児童の保護者向けアンケート.....	55
保護者の方について（問1～問2）.....	55
お子さんのことについて（問3～問10）.....	56
発達の不安や障害に気づいたときについて（問11～問13）.....	63
お子さんの教育・療育について（問14～問18）.....	65
お子さんの将来のことについて（問19～問22）.....	68
お子さんとの外出について（問23～問24）.....	70
福祉サービスについて（問25～問27）.....	72
コミュニケーションや情報の入手方法について（問28～問30）.....	75
相談について（問31～問33）.....	77
保護者・家族への支援について（問34）.....	80
防災について（問35～問36）.....	81
権利擁護について（問37～問40）.....	83
障害がある人のための取り組みについて（問41）.....	87

第1章 調査の目的と概要

1 調査の目的

この調査は、令和3年3月に策定した「目黒区障害者計画（令和6年3月まで）」の改定を行うにあたり、障害に関する手帳をお持ちの方及び難病患者の方、発達に関する不安や障害のあるお子さまの保護者の方の生活の様子や将来の希望などを把握し、計画改定のための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の方法と回収状況

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者、児童の保護者について、無作為抽出(50%)した対象者に調査票を郵送した。
- ・調査票については「身体障害者用」「視覚障害者用（音声コード付き）」「知的障害者用」「精神障害者用」「難病患者用」及び「児童の保護者用」の6種類を作成した。
- ・郵送またはインターネットにより回収した。

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	児童の保護者	合計	
調査地域	目黒区内（施設入所者含む）						
調査方法	郵送配付・回収 インターネット						
調査期間	令和4年9月～10月						
調査対象（a）	1,408	371	768	319	426	3,292	
有効回収数（b）	調査票	633	202	259	147	141	1,382
	割合	86.1%	92.7%	75.7%	82.6%	66.2%	82.0%
	インターネット	102	16	83	31	72	304
	割合	13.9%	7.3%	24.3%	17.4%	33.8%	18.0%
	計	735	218	342	178	213	1,686
有効回収率（b/a）	52.2%	58.8%	44.5%	55.8%	50.0%	51.2%	

3 報告書を見る際の注意事項

- ・調査結果（表中）の比率は、その設問への回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・複数回答形式の設問については、その設問の回答数を基数として算出している。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合がある。
- ・各設問に対する回答項目のうち、1位を白文字、2位を太文字で表示しているが、1位が複数ある場合には、2位の表示は行っていない。

4 標本誤差について

この調査の結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また「回答比率が低いほど大きく」なる。この標本誤差は統計学的に、以下の式によって算出できる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

例えば、「お答えいただくのは、どなたですか」という質問に、1,416人が答えており、そのうち83.7%が「宛名のご本人（代筆を含む）」と回答した。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.837(1-0.837)}{1,416}} \doteq 0.0196$$

したがって、±1.96%が誤差の範囲内になる。つまり、この質問に対する目黒区の真の値は、81.74%～85.66%の間にあると考えられるということになる。

比率 基礎(n)	95%または 5%	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
1,416	±1.16%	±1.60%	±2.13%	±2.44%	±2.60%	±2.66%

第2章 調査結果概要

1 障害者向けアンケート

あなたのことについて（問1～問7）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（1つに○）

- ・「あて名のご本人（ご本人が意思表示した内容の代筆を含みます。）」の割合が 83.7%と最も高く、次いで「ご本人の家族」の割合が 15.7%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「ご本人の家族」、精神障害・難病で「あて名のご本人（ご本人が意思表示した内容の代筆を含みます。）」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. あて名のご本人（ご本人が意思表示した内容の代筆を含みます。）	2. ご本人の家族	3. 施設職員・相談支援専門員・サード・サービス提供者（ヘルパーなど）などの家族以外の介助者・支援者	4. その他
総計	人数	1,416	1,185	222	8	1
	構成比 (%)		83.7	15.7	0.6	0.1
身体障害	人数	704	618	83	3	-
	構成比 (%)		87.8	11.8	0.4	-
知的障害	人数	206	99	102	5	-
	構成比 (%)		48.1	49.5	2.4	-
精神障害	人数	331	301	29	-	1
	構成比 (%)		90.9	8.8	-	0.3
難病	人数	175	167	8	-	-
	構成比 (%)		95.4	4.6	-	-

問2 あなたの性別と令和4年9月1日現在の年代をお答えください。(1つに○)

- ・「男性」の割合が50.7%、「女性」の割合が48.8%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「男性」、難病で「女性」の割合が高くなっている。
- ・「40歳～64歳」の割合が41.8%と最も高く、次いで「65歳～74歳」の割合が22.9%、「18歳～39歳」の割合が19.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「65歳～74歳」、知的障害で「18歳～39歳」、精神障害で「40歳～64歳」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 男性	2. 女性	3. その他
総計	人数	1,327	673	647	7
	構成比(%)		50.7	48.8	0.5
身体障害	人数	663	356	305	2
	構成比(%)		53.7	46.0	0.3
知的障害	人数	202	116	85	1
	構成比(%)		57.4	42.1	0.5
精神障害	人数	315	156	155	4
	構成比(%)		49.5	49.2	1.3
難病	人数	147	45	102	-
	構成比(%)		30.6	69.4	-

		回答者数	1. 18歳～ 39歳	2. 40歳～ 64歳	3. 65歳～ 74歳	4. 75歳以上
総計	人数	1,425	278	596	326	225
	構成比(%)		19.5	41.8	22.9	15.8
身体障害	人数	711	40	238	250	183
	構成比(%)		5.6	33.5	35.2	25.7
知的障害	人数	208	108	83	9	8
	構成比(%)		51.9	39.9	4.3	3.8
精神障害	人数	331	102	196	24	9
	構成比(%)		30.8	59.2	7.3	2.7
難病	人数	175	28	79	43	25
	構成比(%)		16.0	45.1	24.6	14.3

★年代が 40 歳以上の方にお聞きします。

問 2 - A あなたは、介護保険において「要支援・要介護」と認定されていますか。
(1つに○)

- ・「現在、認定されていない」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「現在、要支援・要介護と認定されている」の割合が 23.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「現在、要支援・要介護と認定されている」、精神障害・難病で「現在、認定されていない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 現在、 認定されていない	2. わからない	3. 現在、 要支援・ 要介護と 認定されている
総 計	人数	1,117	760	94	263
	構成比 (%)		68.0	8.4	23.5
身体障害	人数	658	424	44	190
	構成比 (%)		64.4	6.7	28.9
知的障害	人数	94	52	20	22
	構成比 (%)		55.3	21.3	23.4
精神障害	人数	220	169	27	24
	構成比 (%)		76.8	12.3	10.9
難病	人数	145	115	3	27
	構成比 (%)		79.3	2.1	18.6

★現在、「要支援・要介護」と認定されている方にお聞きします。

問2-B どのような介護保険サービスを利用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・「家庭を訪問してもらうサービス（ホームヘルプ、入浴、看護、リハビリ）」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「介護サービスの利用についての相談、ケアプランの作成」の割合が 46.7%、「福祉用具や住宅改修に関するサービス」の割合が 37.1%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「施設で生活しながら受けるサービス（ショートステイ、老人福祉施設、グループホーム）」、難病で「施設に通うサービス（デイサービス、デイケア）」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 介護サービスの利用についての相談、ケアプランの作成	2. 家庭を訪問してもらうサービス（ホームヘルプ、入浴、看護、リハビリ）	3. 施設に通うサービス（デイサービス、デイケア）	4. 施設で生活しながら受けるサービス（ショートステイ、老人福祉施設、グループホーム）	5. 福祉用具や住宅改修に関するサービス	6. その他	7. わからない	8. 利用していない
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
総計	259	121	126	74	34	96	9	1	49
	構成比 (%)	46.7	48.6	28.6	13.1	37.1	3.5	0.4	18.9
身体障害	187	98	99	49	20	78	4	-	33
	構成比 (%)	52.4	52.9	26.2	10.7	41.7	2.1	-	17.6
知的障害	22	4	5	7	12	3	2	1	3
	構成比 (%)	18.2	22.7	31.8	54.5	13.6	9.1	4.5	13.6
精神障害	23	9	9	7	-	5	3	-	6
	構成比 (%)	39.1	39.1	30.4	-	21.7	13.0	-	26.1
難病	27	10	13	11	2	10	-	-	7
	構成比 (%)	37.0	48.1	40.7	7.4	37.0	-	-	25.9

★現在、40歳以上で「要支援・要介護」と認定されているが、介護保険サービスを利用していない方にお聞きします。

問2-C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・「まだ介護保険サービスを使わなくてもやっていける」の割合が56.1%と最も高くなっている。
- ・その他としては、主に「手続きに手間がかかりそう」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1. まだ介護保険サービスを使わなくてもやっていける	2. これまで利用してきた障害福祉サービスと同じ介護保険サービスがない	3. 介護保険サービスでは希望する支援を受けられない	4. 介護保険サービスの利用料の負担が大きいく支払いが難しい	5. 介護保険サービスの利用料の償還払いのしくみがわからない	6. 利用可能な介護保険サービスに係る施設等が身近にない	7. 利用可能な介護保険サービスに係る施設等はあるが、空きがない	8. 障害福祉サービスと併用ができることを知らなかった	9. どこに相談すればいいかわからない	10. その他
			人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
総計	人数	41	23	-	5	2	4	3	-	4	5	11
	構成比 (%)		56.1	-	12.2	4.9	9.8	7.3	-	9.8	12.2	26.8
身体障害	人数	27	15	-	2	2	2	1	-	3	3	6
	構成比 (%)		55.6	-	7.4	7.4	7.4	3.7	-	11.1	11.1	22.2
知的障害	人数	2	1	-	1	-	1	1	-	1	1	-
	構成比 (%)		50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-
精神障害	人数	5	2	-	1	-	1	-	-	-	-	3
	構成比 (%)		40.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	60.0
難病	人数	7	5	-	1	-	-	1	-	-	1	2
	構成比 (%)		71.4	-	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	28.6

問3-1 あなたの障害や現在お持ちの手帳、障害の程度等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「身体障害者手帳」の割合が56.2%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」の割合が23.6%、「難病（医療券）」の割合が17.2%となっている。
- ・重複障害をお持ちの方については、身体障害で「難病」をお持ちの方が10.0%、知的障害で「身体障害者手帳」をお持ちの方が24.9%、精神障害で「発達障害」をお持ちの方が9.7%、難病で「身体障害者手帳」をお持ちの方が6.4%となっている。

		回答者数	1. 身体障害者手帳	2. 愛の手帳	3. 精神障害者保健福祉手帳	4. 難病 <input checked="" type="radio"/> 医療券	5. 高次脳機能障害	6. 発達障害
総計	人数	1,442	810	213	341	248	20	36
	構成比(%)		56.2	14.8	23.6	17.2	1.4	2.5
身体障害	人数	727	726	4	12	73	14	2
	構成比(%)		99.9	0.6	1.7	10.0	1.9	0.3
知的障害	人数	213	53	202	7	2	1	2
	構成比(%)		24.9	94.8	3.3	0.9	0.5	0.9
精神障害	人数	330	20	7	319	5	4	32
	構成比(%)		6.1	2.1	96.7	1.5	1.2	9.7
難病	人数	172	11	-	3	168	1	-
	構成比(%)		6.4	-	1.7	97.7	0.6	-

問3-2 身体障害者手帳の級数（知的障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して身体障害者手帳を保有している場合の身体障害者手帳の級数）

- ・「1級」の割合が37.6%と最も高く、次いで「4級」の割合が22.4%、「2級」の割合が17.3%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「1級」、精神障害で「2級」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級	5. 5級	6. 6級
総計	人数	745	280	129	111	167	48	14
	構成比(%)		37.6	17.3	14.9	22.4	6.4	1.9
身体障害	人数	689	260	108	106	160	46	13
	構成比(%)		37.7	15.7	15.4	23.2	6.7	1.9
知的障害	人数	40	18	11	3	5	2	1
	構成比(%)		45.0	27.5	7.5	12.5	5.0	2.5
精神障害	人数	13	1	10	2	-	-	-
	構成比(%)		7.7	76.9	15.4	-	-	-
難病	人数	3	1	-	-	2	-	-
	構成比(%)		33.3	-	-	66.7	-	-

問3-3 愛の手帳の度数（身体障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して愛の手帳を保有している場合の愛の手帳の度数）

・「4度」の割合が36.1%と最も高く、次いで「2度」の割合が34.2%、「3度」の割合が25.7%となっている。

		回答者数	1. 1度	2. 2度	3. 3度	4. 4度
総計	人数	202	9	69	52	73
	構成比(%)		4.5	34.2	25.7	36.1
身体障害	人数	2	-	-	1	1
	構成比(%)		-	-	50.0	50.0
知的障害	人数	193	9	67	51	67
	構成比(%)		4.7	34.7	26.4	34.7
精神障害	人数	7	-	2	-	5
	構成比(%)		-	28.6	-	71.4
難病	人数	-	-	-	-	-
	構成比(%)		-	-	-	-

問3-4 精神障害者保健福祉手帳の級数（身体障害の方、知的障害の方、難病の方は、重複して精神障害者保健福祉手帳を保有している場合の精神障害者保健福祉手帳の級数）

・「2級」の割合が52.1%と最も高く、次いで「3級」の割合が43.1%となっている。

		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級
総計	人数	332	16	173	143
	構成比(%)		4.8	52.1	43.1
身体障害	人数	8	1	5	2
	構成比(%)		12.5	62.5	25.0
知的障害	人数	7	-	4	3
	構成比(%)		-	57.1	42.9
精神障害	人数	314	15	162	137
	構成比(%)		4.8	51.6	43.6
難病	人数	3	-	2	1
	構成比(%)		-	66.7	33.3

★身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

問3-A 主な障害の部位は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

・「肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能)」の割合が48.6%と最も高く、次いで「内部障害(心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能)」の割合が37.9%となっている。

		回答者数	1. 視覚	2. 聴覚・平衡機能	3. 音声・言語・そしゃく機能	4. 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹機能)	5. 内部障害(心臓、呼吸器、 じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、 小腸、免疫機能)	6. その他
総計	人数	762	58	50	51	370	289	43
	構成比(%)		7.6	6.6	6.7	48.6	37.9	5.6
身体障害	人数	692	52	43	42	338	275	23
	構成比(%)		7.5	6.2	6.1	48.8	39.7	3.3
知的障害	人数	47	6	5	9	25	6	10
	構成比(%)		12.8	10.6	19.1	53.2	12.8	21.3
精神障害	人数	13	-	2	-	3	2	7
	構成比(%)		-	15.4	-	23.1	15.4	53.8
難病	人数	10	-	-	-	4	6	3
	構成比(%)		-	-	-	40.0	60.0	30.0

問4 障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに○)

・「40歳以上から64歳までの時期」の割合が41.6%と最も高く、次いで「小学校入学後から39歳までの時期」の割合が33.3%、「65歳以上になってから」の割合が14.6%となっている。
 ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「40歳以上から64歳までの時期」、知的障害で「乳幼児期から小学校入学前までの時期」、精神障害で「小学校入学後から39歳までの時期」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 生まれたとき	2. 乳幼児期から小学校 入学前までの時期	3. 小学校入学後から39歳 までの時期	4. 40歳以上から64歳ま での時期	5. 65歳以上になってから
総計	人数	1,345	24	116	448	560	197
	構成比(%)		1.8	8.6	33.3	41.6	14.6
身体障害	人数	717	15	30	126	369	177
	構成比(%)		2.1	4.2	17.6	51.5	24.7
知的障害	人数	195	7	85	94	9	-
	構成比(%)		3.6	43.6	48.2	4.6	-
精神障害	人数	324	2	1	177	137	7
	構成比(%)		0.6	0.3	54.6	42.3	2.2
難病	人数	109	-	-	51	45	13
	構成比(%)		-	-	46.8	41.3	11.9

問5 あなたは、現在医療的ケアを受けていますか。(1つに○)

・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「受けていない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 受けている	2. 受けていない
総計	人数	1,397	565	832
	構成比(%)		40.4	59.6
身体障害	人数	700	300	400
	構成比(%)		42.9	57.1
知的障害	人数	206	53	153
	構成比(%)		25.7	74.3
精神障害	人数	322	146	176
	構成比(%)		45.3	54.7
難病	人数	169	66	103
	構成比(%)		39.1	60.9

★問5で「1. 受けている」と回答した方におたずねします。

問5-A あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- ・「服薬管理」の割合が62.5%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「透析」、精神障害・難病で「服薬管理」の割合が高くなっている。
- ・その他としては、主に「ペースメーカー」等の内容が記載されている。

		回答者数	1. 気管切開	2. 人工呼吸器 (レスピレータ)	3. 吸入	4. 吸引	5. 胃ろう・腸ろう	6. 鼻腔経管栄養
総計	人数	520	15	3	15	19	31	6
	構成比(%)		2.9	0.6	2.9	3.7	6.0	1.2
身体障害	人数	275	13	3	8	14	23	4
	構成比(%)		4.7	1.1	2.9	5.1	8.4	1.5
知的障害	人数	51	2	-	4	4	7	1
	構成比(%)		3.9	-	7.8	7.8	13.7	2.0
精神障害	人数	133	-	-	2	1	-	-
	構成比(%)		-	-	1.5	0.8	-	-
難病	人数	61	-	-	1	-	1	1
	構成比(%)		-	-	1.6	-	1.6	1.6

		7. 中心静脈 (I.V.H)	8. 透析	9. カテーテル 留置	10. 人工肛門・人工膀胱	11. 服薬管理	12. その他
総計	人数	2	52	11	31	325	122
	構成比(%)	0.4	10.0	2.1	6.0	62.5	23.5
身体障害	人数	2	51	8	29	135	61
	構成比(%)	0.7	18.5	2.9	10.5	49.1	22.2
知的障害	人数	-	1	2	1	32	11
	構成比(%)	-	2.0	3.9	2.0	62.7	21.6
精神障害	人数	-	-	1	-	104	39
	構成比(%)	-	-	0.8	-	78.2	29.3
難病	人数	-	-	-	1	54	11
	構成比(%)	-	-	-	1.6	88.5	18.0

問6 現在、あなたが暮らしているところはどこですか。(1つに○)

現在暮らしている場所は「自宅」が約 93%

- ・「自宅（持ち家、賃貸、社宅など）」の割合が 92.8%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「グループホーム、福祉ホーム（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）」、難病で「自宅（持ち家、賃貸、社宅など）」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 自宅（持ち家、賃貸、社宅など）	2. グループホーム、福祉ホーム（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）	3. 障害者向け住宅	4. その他	5. 障害者（児）の入所の福祉施設	6. 病院に入院中
総計	人数	1,408	1,307	32	4	21	23	21
	構成比 (%)		92.8	2.3	0.3	1.5	1.6	1.5
身体障害	人数	705	663	7	3	11	7	14
	構成比 (%)		94.0	1.0	0.4	1.6	1.0	2.0
知的障害	人数	199	154	23	1	3	16	2
	構成比 (%)		77.4	11.6	0.5	1.5	8.0	1.0
精神障害	人数	328	315	2	-	7	-	4
	構成比 (%)		96.0	0.6	-	2.1	-	1.2
難病	人数	176	175	-	-	-	-	1
	構成比 (%)		99.4	-	-	-	-	0.6

★問6で「1. 自宅」「2. グループホーム、福祉ホーム」「3. 障害者向け住宅」「4. その他」と回答された方にお聞きします。

問6-A あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に居住する方は「配偶者」が約39%

- ・「配偶者（夫・妻）」の割合が38.9%と最も高く、次いで「母親」の割合が24.8%、「ひとり暮らし」の割合が24.3%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ身体障害・難病で「配偶者」、知的障害・精神障害で「母親」の割合が高くなっている。

		回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.
			ひとり暮らし	配偶者(夫・妻)	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹(兄弟姉妹の配偶者を含む)	子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む)	その他の親族	グループホームや福祉ホームの入居者	その他
総計	人数	1,320	321	513	231	328	2	17	152	261	14	23	28
	構成比(%)		24.3	38.9	17.5	24.8	0.2	1.3	11.5	19.8	1.1	1.7	2.1
身体障害	人数	657	172	345	27	60	-	2	37	177	9	2	15
	構成比(%)		26.2	52.5	4.1	9.1	-	0.3	5.6	26.9	1.4	0.3	2.3
知的障害	人数	173	9	4	102	125	1	9	55	4	2	20	1
	構成比(%)		5.2	2.3	59.0	72.3	0.6	5.2	31.8	2.3	1.2	11.6	0.6
精神障害	人数	316	101	68	87	121	-	5	45	36	2	1	6
	構成比(%)		32.0	21.5	27.5	38.3	-	1.6	14.2	11.4	0.6	0.3	1.9
難病	人数	174	39	96	15	22	1	1	15	44	1	-	6
	構成比(%)		22.4	55.2	8.6	12.6	0.6	0.6	8.6	25.3	0.6	-	3.4

問7 あなたの介護や支援をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

介護・支援者は「配偶者」が約29%、「母親」が約25%

- ・「配偶者（夫・妻）」の割合が29.2%と最も高く、次いで「母親」の割合が24.7%、「介護や支援は必要ない」の割合が22.2%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「配偶者」、知的障害で「父親」「母親」、難病で「介護や支援は必要ない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 配偶者（夫・妻）	2. 父親	3. 母親	4. 祖父	5. 祖母	6. 兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	7. 子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	8. その他の親族
総計	人数	1,281	374	201	316	5	12	151	171	25
	構成比 (%)		29.2	15.7	24.7	0.4	0.9	11.8	13.3	2.0
身体障害	人数	627	259	24	52	1	6	59	135	6
	構成比 (%)		41.3	3.8	8.3	0.2	1.0	9.4	21.5	1.0
知的障害	人数	190	4	101	138	3	4	44	2	6
	構成比 (%)		2.1	53.2	72.6	1.6	2.1	23.2	1.1	3.2
精神障害	人数	306	57	69	111	1	2	34	17	9
	構成比 (%)		18.6	22.5	36.3	0.3	0.7	11.1	5.6	2.9
難病	人数	158	54	7	15	-	-	14	17	4
	構成比 (%)		34.2	4.4	9.5	-	-	8.9	10.8	2.5

		9. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	10. 相談支援事業所の相談支援専門員	11. 通所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員（保健所等）	15. 介護や支援は必要ない	16. その他
総計	人数	175	130	144	58	19	49	285	62
	構成比 (%)	13.7	10.1	11.2	4.5	1.5	3.8	22.2	4.8
身体障害	人数	97	36	46	28	4	5	162	23
	構成比 (%)	15.5	5.7	7.3	4.5	0.6	0.8	25.8	3.7
知的障害	人数	17	57	58	4	6	16	3	14
	構成比 (%)	8.9	30.0	30.5	2.1	3.2	8.4	1.6	7.4
精神障害	人数	50	34	39	21	9	27	50	20
	構成比 (%)	16.3	11.1	12.7	6.9	2.9	8.8	16.3	6.5
難病	人数	11	3	1	5	-	1	70	5
	構成比 (%)	7.0	1.9	0.6	3.2	-	0.6	44.3	3.2

問7-A 問7で回答した中で、主に介護や支援をしている方

- ・「配偶者（夫・妻）」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「母親」の割合が 26.9%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害・難病で「配偶者（夫・妻）」、知的障害で「母親」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 配偶者（夫・妻）	2. 父親	3. 母親	4. 祖父	5. 祖母	6. 兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	7. 子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	8. その他の親族
総計	人数	815	276	45	219	-	5	53	5	57
	構成比 (%)		33.9	5.5	26.9	-	0.6	6.5	0.6	7.0
身体障害	人数	354	186	6	30	-	4	25	1	45
	構成比 (%)		52.5	1.7	8.5	-	1.1	7.1	0.3	12.7
知的障害	人数	173	3	20	111	-	-	9	-	1
	構成比 (%)		1.7	11.6	64.2	-	-	5.2	-	0.6
精神障害	人数	218	48	19	70	-	1	11	2	6
	構成比 (%)		22.0	8.7	32.1	-	0.5	5.0	0.9	2.8
難病	人数	70	39	-	8	-	-	8	2	5
	構成比 (%)		55.7	-	11.4	-	-	11.4	2.9	7.1

		9. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	10. 相談支援事業所の相談支援専門員	11. 通所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員（保健所等）	15. 介護や支援は必要ない	16. その他
総計	人数	53	16	36	20	2	12	-	16
	構成比 (%)	6.5	2.0	4.4	2.5	0.2	1.5	-	2.0
身体障害	人数	27	2	7	8	1	2	-	10
	構成比 (%)	7.6	0.6	2.0	2.3	0.3	0.6	-	2.8
知的障害	人数	4	3	20	-	-	1	-	1
	構成比 (%)	2.3	1.7	11.6	-	-	0.6	-	0.6
精神障害	人数	20	10	9	10	1	8	-	3
	構成比 (%)	9.2	4.6	4.1	4.6	0.5	3.7	-	1.4
難病	人数	2	1	-	2	-	1	-	2
	構成比 (%)	2.9	1.4	-	2.9	-	1.4	-	2.9

問7-B 問7-Aの「主に介護や支援をしている人」の年齢はいくつですか。
(1つに○)

- ・「40歳～64歳」の割合が43.3%と最も高く、次いで「65歳～74歳」の割合が26.2%、「75歳以上」の割合が19.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「40歳～64歳」、精神障害で「23歳～39歳」、難病で「65歳～74歳」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 13歳未満	2. 13歳～15歳	3. 16歳～18歳	4. 19歳～22歳	5. 23歳～39歳	6. 40歳～64歳	7. 65歳～74歳	8. 75歳以上
総計	人数	878	3	-	3	3	88	380	230	171
	構成比(%)		0.3	-	0.3	0.3	10.0	43.3	26.2	19.5
身体障害	人数	399	1	-	1	1	34	165	118	79
	構成比(%)		0.3	-	0.3	0.3	8.5	41.4	29.6	19.8
知的障害	人数	178	-	-	1	-	6	90	46	35
	構成比(%)		-	-	0.6	-	3.4	50.6	25.8	19.7
精神障害	人数	221	1	-	-	1	40	95	41	43
	構成比(%)		0.5	-	-	0.5	18.1	43.0	18.6	19.5
難病	人数	80	1	-	1	1	8	30	25	14
	構成比(%)		1.3	-	1.3	1.3	10.0	37.5	31.3	17.5

日頃の活動のことについて（問8～問12）

問8 あなたは、外出するとき、どなたと一緒に出かけますか。
（あてはまるものすべてに○）

「ひとりで出かける」が70%、「家族」が約50%

- ・「ひとりで出かける」の割合が70.0%と最も高く、次いで「家族」の割合が50.8%、「友人」の割合が16.3%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「家族」、精神障害・難病で「ひとりで出かける」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 家族	2. 友人	3. ヘルパー	4. 施設の職員	5. グループホームの世話人	6. ボランティア	7. ひとりで出かける	8. その他
総計	人数	1,411	717	230	133	42	19	11	987	43
	構成比(%)		50.8	16.3	9.4	3.0	1.3	0.8	70.0	3.0
身体障害	人数	704	352	117	50	14	2	-	496	23
	構成比(%)		50.0	16.6	7.1	2.0	0.3	-	70.5	3.3
知的障害	人数	197	143	15	70	24	16	10	72	6
	構成比(%)		72.6	7.6	35.5	12.2	8.1	5.1	36.5	3.0
精神障害	人数	336	142	60	10	4	1	1	280	8
	構成比(%)		42.3	17.9	3.0	1.2	0.3	0.3	83.3	2.4
難病	人数	174	80	38	3	-	-	-	139	6
	構成比(%)		46.0	21.8	1.7	-	-	-	79.9	3.4

問9 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

日中の過ごし方は「家でくつろいでいる」が約43%

- ・「家でくつろいでいる」の割合が43.2%と最も高く、次いで「家事をしている」の割合が32.8%、「企業などで働いている（常勤、非常勤、アルバイト、パートなど）」の割合が29.8%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「仕事を中心の施設に通っている（就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援）」「生活リズム・日常生活習慣の維持、創作活動や作業などを行う通所施設に通っている（生活介護）」、精神障害で「家でくつろいでいる」、難病で「企業などで働いている（常勤、非常勤、アルバイト、パートなど）」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 幼稚園・保育園、児童発達支援事業所や学校に通っている	2. 仕事を中心の施設に通っている（就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援）	3. 企業などで働いている（常勤、非常勤、アルバイト、パートなど）	4. 家で仕事をしている（在宅就労・自由業）	5. 身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通っている（自立訓練）	6. 生活リズム・日常生活習慣の維持、創作活動や作業などを行う通所施設に通っている（生活介護）	7. 地域活動支援センターに通っている	
		総計	1,381	13 0.9	96 7.0	412 29.8	179 13.0	53 3.8	69 5.0
身体障害	人数	689	3	6	186	108	37	17	4
	構成比 (%)		0.4	0.9	27.0	15.7	5.4	2.5	0.6
知的障害	人数	193	5	60	58	5	3	44	1
	構成比 (%)		2.6	31.1	30.1	2.6	1.6	22.8	0.5
精神障害	人数	327	4	30	94	40	8	6	6
	構成比 (%)		1.2	9.2	28.7	12.2	2.4	1.8	1.8
難病	人数	172	1	-	74	26	5	2	1
	構成比 (%)		0.6	-	43.0	15.1	2.9	1.2	0.6

	8. デイサービスに通っている	9. 病院 デイケアなどに通っている	10. 習い事や趣味の集まりなどへの参加、ショッピングや散歩に出かける	11. 地域の集まりやボランティアなどに参加している	12. 家事をしている	13. 家でくつろいでいる	14. 外出したいが、出かけられず家にいる
		総計	63 4.6	256 18.5	205 14.8	42 3.0	453 32.8
身体障害	人数	39	126	108	28	246	74
	構成比 (%)	5.7	18.3	15.7	4.1	35.7	10.7
知的障害	人数	7	12	4	1	11	8
	構成比 (%)	3.6	6.2	2.1	0.5	5.7	4.1
精神障害	人数	8	88	63	8	119	65
	構成比 (%)	2.4	26.9	19.3	2.4	36.4	19.9
難病	人数	9	30	30	5	77	18
	構成比 (%)	5.2	17.4	17.4	2.9	44.8	10.5

★問9で、「14. 外出したいが、出かけられず家にいる」と回答した方にお聞きします。

問9－A 出かけられない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

出かけられない理由は「体力がない・体調管理が難しい」が約 49%

- ・「参加するための体力がない・体調管理が難しい」の割合が 49.1%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、精神障害で「参加するための体力がない・体調管理が難しい」「障害に対する理解が乏しい」の割合が高くなっている。
- ・その他としては、主に「心身の具合が悪いため」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.
			参加できる行事や活動がない	どのような行事や活動があるのか知らない・わからない	介護や支援をしてくれる人がいない	行事や活動の内容が障害者の参加に配慮していない	一緒に参加する仲間がいない	障害に対する理解が乏しい	利用したい施設などの設備が十分ではない	参加するための体力がない・体調管理が難しい	移動手段がない	その他
総計	人数	159	28	29	30	7	27	25	13	78	23	50
	構成比 (%)		17.6	18.2	18.9	4.4	17.0	15.7	8.2	49.1	14.5	31.4
身体障害	人数	73	14	9	16	2	10	8	6	28	16	25
	構成比 (%)		19.2	12.3	21.9	2.7	13.7	11.0	8.2	38.4	21.9	34.2
知的障害	人数	8	2	2	3	-	2	-	1	1	1	2
	構成比 (%)		25.0	25.0	37.5	-	25.0	-	12.5	12.5	12.5	25.0
精神障害	人数	60	9	13	8	4	12	15	4	40	4	16
	構成比 (%)		15.0	21.7	13.3	6.7	20.0	25.0	6.7	66.7	6.7	26.7
難病	人数	18	3	5	3	1	3	2	2	9	2	7
	構成比 (%)		16.7	27.8	16.7	5.6	16.7	11.1	11.1	50.0	11.1	38.9

問 10 あなたは、平日の夕方から夜（学校・通所施設・企業等からの帰宅後）や休日はどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

平日の夕方から夜や休日は「家の中でくつろいで過ごす」が約 84%

- ・「家の中でくつろいで過ごす」の割合が 83.7%と最も高く、次いで「散歩や買い物、食事などに出かける」の割合が 43.4%、「読書やゲームなど、家の中でできる趣味で過ごす」の割合が 41.8%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「散歩や買い物、食事などに出かける」、精神障害で「読書やゲームなど、家の中でできる趣味で過ごす」、難病で「家事や仕事をする」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 家の中でくつろいで過ごす	2. 読書やゲームなど、家でできる趣味で過ごす	3. 散歩や買い物、食事などに出かける	4. ジョギングやプール・ジムに通うなど、運動をする	5. 友人と過ごす	6. 放課後等デイサービスで過ごす	7. 習い事やサークル、趣味の集まりなどに参加する	
総計	人数	1,375	1,151	575	597	137	204	8	116
	構成比 (%)		83.7	41.8	43.4	10.0	14.8	0.6	8.4
身体障害	人数	684	574	258	290	66	116	1	55
	構成比 (%)		83.9	37.7	42.4	9.6	17.0	0.1	8.0
知的障害	人数	196	163	92	97	18	10	6	21
	構成比 (%)		83.2	46.9	49.5	9.2	5.1	3.1	10.7
精神障害	人数	324	272	156	132	34	43	-	25
	構成比 (%)		84.0	48.1	40.7	10.5	13.3	-	7.7
難病	人数	171	142	69	78	19	35	1	15
	構成比 (%)		83.0	40.4	45.6	11.1	20.5	0.6	8.8

	8. 地域の集まりやボランティアなどに参加する	9. 美術館や博物館、映画館などに参加する	10. コンサートや祭りなどのイベントに出かける	11. 旅行に行く	12. 家事や仕事をする	13. 忙しくて余暇の時間がない	14. その他	15. 外出したいが、出かけられず家にいる	
総計	人数	41	196	147	189	529	32	62	116
	構成比 (%)	3.0	14.3	10.7	13.7	38.5	2.3	4.5	8.4
身体障害	人数	19	109	79	109	278	11	30	49
	構成比 (%)	2.8	15.9	11.5	15.9	40.6	1.6	4.4	7.2
知的障害	人数	9	17	23	25	27	3	11	9
	構成比 (%)	4.6	8.7	11.7	12.8	13.8	1.5	5.6	4.6
精神障害	人数	9	50	31	33	136	11	15	43
	構成比 (%)	2.8	15.4	9.6	10.2	42.0	3.4	4.6	13.3
難病	人数	4	20	14	22	88	7	6	15
	構成比 (%)	2.3	11.7	8.2	12.9	51.5	4.1	3.5	8.8

問 11 あなたは、平日の夕方から夜（学校・施設・企業等からの帰宅後）や休日はどのような過ごし方を望んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

平日の夕方から夜や休日は「家の中でくつろいで過ごしたい」が約 75%

- ・「家の中でくつろいで過ごしたい（リラックスや身体を休めることを含む）」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「散歩や買い物、食事などに出かけたい」の割合が 47.3%、「音楽を聴いたり読書やゲームなど、家の中でできる趣味を楽しみたい」の割合が 45.4%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、精神障害で「音楽を聴いたり読書やゲームなど、家の中でできる趣味を楽しみたい」、難病で「友人と過ごしたい」「旅行に行きたい」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 家の中でくつろいで過ごしたい（リラックスや身体を休めることを含む）	2. 音楽を聴いたり読書やゲームなど、家の中でできる趣味を楽しみたい	3. 散歩や買い物、食事などに出かけたい	4. ジョギングやプール・ジムなど、運動をしたい	5. 友人と過ごしたい	6. 放課後等デイサービスで過ごしたい	7. 習い事やサークル、趣味の集まりなどに参加したい
総 計	人数	1,318	993	599	623	273	318	17	193
	構成比 (%)		75.3	45.4	47.3	20.7	24.1	1.3	14.6
身体障害	人数	638	487	269	297	123	148	7	87
	構成比 (%)		76.3	42.2	46.6	19.3	23.2	1.1	13.6
知的障害	人数	186	113	76	92	37	28	6	22
	構成比 (%)		60.8	40.9	49.5	19.9	15.1	3.2	11.8
精神障害	人数	324	257	177	153	80	92	2	60
	構成比 (%)		79.3	54.6	47.2	24.7	28.4	0.6	18.5
難病	人数	170	136	77	81	33	50	2	24
	構成比 (%)		80.0	45.3	47.6	19.4	29.4	1.2	14.1

		8. 地域の集まりやボランティアなどに参加したい	9. 美術館や博物館、映画館などへ出かけたい	10. コンサートや祭りなどのイベントに出かけたい	11. 旅行に行きたい	12. 家事や仕事をしたい	13. わからない	14. その他
総 計	人数	79	353	284	510	252	37	38
	構成比 (%)	6.0	26.8	21.5	38.7	19.1	2.8	2.9
身体障害	人数	34	175	136	265	122	10	23
	構成比 (%)	5.3	27.4	21.3	41.5	19.1	1.6	3.6
知的障害	人数	11	36	38	66	18	12	4
	構成比 (%)	5.9	19.4	20.4	35.5	9.7	6.5	2.2
精神障害	人数	24	100	68	96	73	14	9
	構成比 (%)	7.4	30.9	21.0	29.6	22.5	4.3	2.8
難病	人数	10	42	42	83	39	1	2
	構成比 (%)	5.9	24.7	24.7	48.8	22.9	0.6	1.2

問 12 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活で特に困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響で困っていることは「外出の制限」が約 46%

- ・「外出の制限」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 27.0%、「支出の増加」の割合が 19.9%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「特に無い」、精神障害で「支出の増加」、難病で「外出の制限」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 収入の減少	2. 勉強する機会が少なくなった	3. 支出の増加	4. 運動・スポーツの機会の減少	5. 仕事がなくなった・仕事が減った	6. 外出の制限	7. 生活必需品の確保	8. 働き方の変化による負担	9. あなたと家族の健康悪化	10. 特にない	11. その他
総 計	人数	1,346	244	53	268	221	119	615	95	104	157	363	76
	構成比 (%)		18.1	3.9	19.9	16.4	8.8	45.7	7.1	7.7	11.7	27.0	5.6
身体障害	人数	667	121	29	135	100	50	305	42	43	67	176	32
	構成比 (%)		18.1	4.3	20.2	15.0	7.5	45.7	6.3	6.4	10.0	26.4	4.8
知的障害	人数	186	20	-	5	33	11	86	2	4	19	66	9
	構成比 (%)		10.8	-	2.7	17.7	5.9	46.2	1.1	2.2	10.2	35.5	4.8
精神障害	人数	326	70	20	92	58	43	137	38	30	53	79	25
	構成比 (%)		21.5	6.1	28.2	17.8	13.2	42.0	11.7	9.2	16.3	24.2	7.7
難病	人数	167	33	4	36	30	15	87	13	27	18	42	10
	構成比 (%)		19.8	2.4	21.6	18.0	9.0	52.1	7.8	16.2	10.8	25.1	6.0

地域の活動への参加について（問 13）

問 13 あなたは、地域での活動に参加していますか。（1つに○）

地域での活動への参加は「ほとんど参加しない」が約 89%

- ・「よく参加する」と「ときどき参加する」をあわせた「参加する」の割合が 11.4%、「ほとんど参加しない」の割合が 88.6%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、大きな差はみられない。

		回答者数	1. よく参加する	2. ときどき参加する	3. ほとんど参加しない
			人数	構成比 (%)	人数
総 計	人数	1,368	33	123	1,212
	構成比 (%)		2.4	9.0	88.6
身体障害	人数	679	17	60	602
	構成比 (%)		2.5	8.8	88.7
知的障害	人数	189	3	22	164
	構成比 (%)		1.6	11.6	86.8
精神障害	人数	328	5	29	294
	構成比 (%)		1.5	8.8	89.6
難病	人数	172	8	12	152
	構成比 (%)		4.7	7.0	88.4

★問 13 で「1. よく参加する」「2. ときどき参加する」と回答した方にお聞きします。

問 13-A どのような活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- ・「ボランティア活動」「地域の活性化のための活動」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「障害者を対象とした活動」の割合が 20.8%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「高齢者を対象とした活動」、知的障害で「障害者を対象とした活動」、精神障害で「ボランティア活動」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. ボランティア活動	2. 地域の安全を守るための活動	3. 高齢者を対象とした活動	4. 子どもを対象とした活動	5. 障害者を対象とした活動	6. まちづくりのための活動	7. 健康や医療に関連した活動	8. 地域の活性化のための活動	9. 生涯学習に関連した活動	10. その他
			人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
総 計	人数	154	34	21	27	24	32	25	19	34	14	18
	構成比 (%)		22.1	13.6	17.5	15.6	20.8	16.2	12.3	22.1	9.1	11.7
身体障害	人数	76	18	12	19	12	4	17	7	20	6	11
	構成比 (%)		23.7	15.8	25.0	15.8	5.3	22.4	9.2	26.3	7.9	14.5
知的障害	人数	25	5	5	1	2	17	3	2	5	1	-
	構成比 (%)		20.0	20.0	4.0	8.0	68.0	12.0	8.0	20.0	4.0	-
精神障害	人数	33	10	-	2	5	11	2	7	4	4	5
	構成比 (%)		30.3	-	6.1	15.2	33.3	6.1	21.2	12.1	12.1	15.2
難病	人数	20	1	4	5	5	-	3	3	5	3	2
	構成比 (%)		5.0	20.0	25.0	25.0	-	15.0	15.0	25.0	15.0	10.0

将来の暮らしについて（問 14）

問 14 あなたは、将来、どのような暮らし方をしたいですか。（1つに○）

将来は「現在の自宅で暮らし続けたい」が約 62%

- ・「現在の自宅で暮らし続けたい」の割合が 62.4%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害・難病で「現在の自宅で暮らし続けたい」、知的障害で「グループホーム、福祉ホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしたい」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 現在の自宅で暮らし続けたい	2. アパートやマンションを借りて暮らしたい	3. グループホーム、福祉ホームのようなところ （介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の 場）で暮らしたい	4. 障害者や高齢者向けの入所施設に入りたい（入 所を続けたい）	5. 病院に入りたい（入院を続けたい）	6. 公営の障害者住宅に入りたい	7. その他	8. わからない
総 計	人数	1,382	863	128	89	52	13	66	45	126
	構成比 (%)		62.4	9.3	6.4	3.8	0.9	4.8	3.3	9.1
身体障害	人数	690	485	42	18	25	6	42	19	53
	構成比 (%)		70.3	6.1	2.6	3.6	0.9	6.1	2.8	7.7
知的障害	人数	200	75	12	57	22	2	5	5	22
	構成比 (%)		37.5	6.0	28.5	11.0	1.0	2.5	2.5	11.0
精神障害	人数	323	178	53	13	5	4	17	16	37
	構成比 (%)		55.1	16.4	4.0	1.5	1.2	5.3	5.0	11.5
難病	人数	169	125	21	1	-	1	2	5	14
	構成比 (%)		74.0	12.4	0.6	-	0.6	1.2	3.0	8.3

医療について（問 15）

問 15 あなたは、医療について困っていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「特に困っていることはない」が 48%

- ・「特に困っていることはない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「医療費の自己負担が大変」の割合が 17.8%、「医師や看護師に病気（症状・状態・疑問点など）が上手く伝えられない」の割合が 16.0%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「入院時のコミュニケーションが心配」「医師や看護師に病気（症状・状態・疑問点など）が上手く伝えられない」、難病で「医療費の自己負担が大変」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 通院するとき付き添う人がいない	2. 通院するための交通手段がない	3. 入院時のコミュニケーションが心配	4. 医師や看護師に病気（症状・状態・疑問点など）が上手く伝えられない	5. 医師や病院からの説明がわからない	6. 急に具合が悪くなったときの対応方法がわからない	7. ちょっとした病気（風邪や腹痛など）のときに診てもらわれない	
		総計	人数 1,329	83	54	156	213	114	166
	構成比 (%)	6.2	4.1	11.7	16.0	8.6	12.5	7.4	
身体障害	人数	658	43	35	41	48	22	65	42
	構成比 (%)		6.5	5.3	6.2	7.3	3.3	9.9	6.4
知的障害	人数	192	12	8	77	81	70	-	15
	構成比 (%)		6.3	4.2	40.1	42.2	36.5	-	7.8
精神障害	人数	315	21	6	34	73	19	70	25
	構成比 (%)		6.7	1.9	10.8	23.2	6.0	22.2	7.9
難病	人数	164	7	5	4	11	3	31	16
	構成比 (%)		4.3	3.0	2.4	6.7	1.8	18.9	9.8

	回答者数	8. 服薬管理（決められた時間に決められた量の薬を飲むことが難しい）	9. 薬の効果や副作用の説明がよくわからず不安	10. 夜間休日などの救急対応の方法、連絡先がわからず不安	11. 医療費の自己負担が大変	12. 医療機関の設備（トイレやスロープなど）や対応が障害者に配慮されていない	13. その他	14. 特に困っていることはない
		総計	人数 104	96	143	236	37	96
	構成比 (%)	7.8	7.2	10.8	17.8	2.8	7.2	48.0
身体障害	人数	14	19	48	100	27	42	375
	構成比 (%)	2.1	2.9	7.3	15.2	4.1	6.4	57.0
知的障害	人数	42	43	41	17	4	13	62
	構成比 (%)	21.9	22.4	21.4	8.9	2.1	6.8	32.3
精神障害	人数	39	27	39	70	4	34	126
	構成比 (%)	12.4	8.6	12.4	22.2	1.3	10.8	40.0
難病	人数	9	7	15	49	2	7	75
	構成比 (%)	5.5	4.3	9.1	29.9	1.2	4.3	45.7

(精神・難病のみ)

あなたは、現在、精神の症状・病気、難病として特定された疾病により治療を受けていますか。(1つに○)

現在、「治療を受けている」人は約92%

		回答者数	1. 治療を受けている	2. 治療を受けていない
総計	人数	513	471	42
	構成比 (%)		91.8	8.2
精神障害	人数	338	320	18
	構成比 (%)		94.7	5.3
難病	人数	175	151	24
	構成比 (%)		86.3	13.7

就労について（問 16～問 17）

問 16 あなたは、現在、働いていますか。（1つに○）

「働いていない」が約 54%

- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「働いている」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 働いている	2. 働いていない
総計	人数	1,435	664	771
	構成比 (%)		46.3	53.7
身体障害	人数	712	295	417
	構成比 (%)		41.4	58.6
知的障害	人数	212	129	83
	構成比 (%)		60.8	39.2
精神障害	人数	337	145	192
	構成比 (%)		43.0	57.0
難病	人数	174	95	79
	構成比 (%)		54.6	45.4

★問 16 で、「1. 働いている」と回答した方にお聞きします。

問 16-A 働いている場所はどこですか。（1つに○）

「目黒区外にある企業などで、正社員、正職員、契約社員として働いている」が約 38%

- ・「目黒区外にある企業などで正社員、正職員、契約社員として働いている」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「在宅勤務、自営業など、自宅で働いている」の割合が 17.4%、「仕事を中心とする通所施設（就労継続支援 A 型・B 型）で働いている」の割合が 12.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「在宅勤務、自営業など、自宅で働いている」、知的障害で「仕事を中心とする通所施設（就労継続支援 A 型・B 型）で働いている」、難病で「目黒区外にある企業などで臨時、アルバイト、パートとして働いている」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 目黒区内にある企業などで正社員、正職員、契約社員として働いている	2. 目黒区外にある企業などで正社員、正職員、契約社員として働いている	3. 目黒区内にある企業などで臨時、アルバイト、パートとして働いている	4. 目黒区外にある企業などで臨時、アルバイト、パートとして働いている	5. 仕事を中心とする通所施設（就労継続支援 A 型・B 型）で働いている	6. 在宅勤務、自営業など、自宅で働いている	7. その他
総計	人数	642	50	242	47	75	80	112	36
	構成比 (%)		7.8	37.7	7.3	11.7	12.5	17.4	5.6
身体障害	人数	287	26	129	17	20	4	78	13
	構成比 (%)		9.1	44.9	5.9	7.0	1.4	27.2	4.5
知的障害	人数	120	8	25	6	14	57	-	10
	構成比 (%)		6.7	20.8	5.0	11.7	47.5	-	8.3
精神障害	人数	141	10	50	18	18	19	20	6
	構成比 (%)		7.1	35.5	12.8	12.8	13.5	14.2	4.3
難病	人数	94	6	38	6	23	-	14	7
	構成比 (%)		6.4	40.4	6.4	24.5	-	14.9	7.4

★問 16 で、「1. 働いている」と回答した方にお聞きします。

問 16-B 働いて得る収入（給料や工賃など）はどれくらいですか。差し支えない範囲でお答えください。（1つに○）

月収は「20 万円以上」が約 34%

- ・「20 万円以上」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「10 万円以上～20 万円未満」の割合が 27.4%、「5 万円以上～10 万円未満」の割合が 14.2%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害・難病で「20 万円以上」、知的障害で「1 万以上～2 万未満」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 1 万円未満	2. 1 万円以上～2 万円未満	3. 2 万円以上～5 万円未満	4. 5 万円以上～10 万円未満	5. 10 万円以上～20 万円未満	6. 20 万円以上	7. なし	8. わからない
総 計	人数	636	50	43	39	90	174	217	6	17
	構成比 (%)		7.9	6.8	6.1	14.2	27.4	34.1	0.9	2.7
身体障害	人数	276	6	6	15	32	72	134	3	8
	構成比 (%)		2.2	2.2	5.4	11.6	26.1	48.6	1.1	2.9
知的障害	人数	125	28	30	9	10	40	4	1	3
	構成比 (%)		22.4	24.0	7.2	8.0	32.0	3.2	0.8	2.4
精神障害	人数	142	16	5	9	30	44	33	1	4
	構成比 (%)		11.3	3.5	6.3	21.1	31.0	23.2	0.7	2.8
難病	人数	93	-	2	6	18	18	46	1	2
	構成比 (%)		-	2.2	6.5	19.4	19.4	49.5	1.1	2.2

問 17 あなたは、障害のある方が企業などで働くために重要と思うことはどれですか。
 現在働いていない方や再就職を考えている方もお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

働くために重要なことは「企業、上司、同僚の理解」が約 47%

- ・「企業、上司、同僚の理解」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「就業の日数や時間、場所などについて多様な就労の形が認められていること」の割合が 37.4%、「給料が充実していること」の割合が 34.6%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、精神障害で「企業、上司、同僚の理解」「就職に向けた相談」「就労初期段階での支援（就労移行支援）」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 就職に向けた障害者（家族）の意識啓発	2. 就職に向けた相談	3. 給料が充実していること	4. 就職先の紹介等の支援（休職中・退職後の転職を含む）	5. 在宅就労等（自宅で働くなど）に向けた支援	6. 就職に必要な知識・技術等の習得	7. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	8. 健康管理等の支援	9. 就労に向けた面接、実習などの支援
		総計	1,320	253	386	457	393	367	384	300
	人数	253	386	457	393	367	384	300	359	203
	構成比 (%)	19.2	29.2	34.6	29.8	27.8	29.1	22.7	27.2	15.4
身体障害	655	124	172	214	179	184	174	115	151	68
	人数	124	172	214	179	184	174	115	151	68
	構成比 (%)	18.9	26.3	32.7	27.3	28.1	26.6	17.6	23.1	10.4
知的障害	175	28	25	31	33	3	38	43	39	27
	人数	28	25	31	33	3	38	43	39	27
	構成比 (%)	16.0	14.3	17.7	18.9	1.7	21.7	24.6	22.3	15.4
精神障害	329	68	134	150	127	124	121	107	121	85
	人数	68	134	150	127	124	121	107	121	85
	構成比 (%)	20.7	40.7	45.6	38.6	37.7	36.8	32.5	36.8	25.8
難病	161	33	55	62	54	56	51	35	48	23
	人数	33	55	62	54	56	51	35	48	23
	構成比 (%)	20.5	34.2	38.5	33.5	34.8	31.7	21.7	29.8	14.3

	職活動への支援	10. ハローワーク等の就労情報による就	11. 就労初期段階での支援（就労移行支援）	12. 就職後の相談・支援（就労定着支援・ジョブコーチ）	13. 企業、上司、同僚の理解	14. 障害特性に配慮した職場環境の整備（介助や援助、バリアフリー等）	15. 通勤するための移動支援（安全な通勤手段の確保など）	16. 就業の日数や時間、場所などについて多様な就労の形が認められていること	17. その他	18. 特にない	19. 身体の状態や年齢により働くことが難しい
		総計	277	226	311	617	377	303	494	44	147
	人数	226	311	617	377	303	494	44	147	292	
	構成比 (%)	21.0	17.1	23.6	46.7	28.6	23.0	37.4	3.3	11.1	22.1
身体障害	122	80	118	273	214	155	206	14	87	167	
	人数	80	118	273	214	155	206	14	87	167	
	構成比 (%)	18.6	12.2	18.0	41.7	32.7	23.7	31.5	2.1	13.3	25.5
知的障害	20	34	44	68	28	41	64	8	23	36	
	人数	34	44	68	28	41	64	8	23	36	
	構成比 (%)	11.4	19.4	25.1	38.9	16.0	23.4	36.6	4.6	13.1	20.6
精神障害	100	93	108	192	89	64	156	19	27	59	
	人数	93	108	192	89	64	156	19	27	59	
	構成比 (%)	30.4	28.3	32.8	58.4	27.1	19.5	47.4	5.8	8.2	17.9
難病	35	19	41	84	46	43	68	3	10	30	
	人数	19	41	84	46	43	68	3	10	30	
	構成比 (%)	21.7	11.8	25.5	52.2	28.6	26.7	42.2	1.9	6.2	18.6

コミュニケーションや情報の入手方法について（問 18～問 20）

問 18 コミュニケーションに支障を感じることがありますか。（1つに○）

コミュニケーションに支障を感じることが「ない」が約 61%

- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「ある」、精神障害で「時々ある」、難病で「ない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. ある	2. 時々ある	3. ない
総 計	人数	1,385	256	282	847
	構成比 (%)		18.5	20.4	61.2
身体障害	人数	687	92	110	485
	構成比 (%)		13.4	16.0	70.6
知的障害	人数	196	78	54	64
	構成比 (%)		39.8	27.6	32.7
精神障害	人数	331	77	100	154
	構成比 (%)		23.3	30.2	46.5
難病	人数	171	9	18	144
	構成比 (%)		5.3	10.5	84.2

★問 18 で「1.ある」「2.時々ある」と回答した方におたずねします。

問 18-A あなたが他人とのコミュニケーションを確保するに当たり、支障となっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

コミュニケーションの支障は「障害に対する周囲の理解不足」が約 44%

- ・「障害に対する周囲の理解不足」の割合が 44.2%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「聴覚に障害がある」、知的障害で「文字等の記号の認識ができない」、精神障害で「障害に対する周囲の理解不足」の割合が高くなっている。
- ・その他としては、主に「うまく伝えられない」「人と話すことが苦手（怖い）」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1. 視覚に障害があ	る 2. 聴覚に障害があ	る 3. 文字等の記号の 認識ができない	に 4. 読み取り、発語 時間がかかる	5. 障害に対する周 囲の理解不足	6. その他
総 計	人数	502	52	60	56	145	222	149
	構成比 (%)		10.4	12.0	11.2	28.9	44.2	29.7
身体障害	人数	188	36	44	16	52	69	45
	構成比 (%)		19.1	23.4	8.5	27.7	36.7	23.9
知的障害	人数	126	11	7	35	41	48	48
	構成比 (%)		8.7	5.6	27.8	32.5	38.1	38.1
精神障害	人数	162	4	6	5	44	94	49
	構成比 (%)		2.5	3.7	3.1	27.2	58.0	30.2
難病	人数	26	1	3	-	8	11	7
	構成比 (%)		3.8	11.5	-	30.8	42.3	26.9

問 19 情報発信や情報取得に当たり、あなたに適した方法は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

情報発信や情報取得に適した方法は「パソコン・スマートフォン」が約 70%

- ・「パソコン・スマートフォン」の割合が 69.6%と最も高くなっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「絵図・写真（コミュニケーションボードなど）」、精神障害・難病で「パソコン・スマートフォン」の割合が高くなっている。
- ・その他としては、主に「会話・ゆっくり分かるような説明」「介助者を通じて」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1. 手話	2. 筆談	3. 要約筆記	4. 点字	5. 拡大鏡・拡大文字	6. 音声による読み上げ (Uni-voice コードなど)	7. 絵図・写真（コミュニケーション ボードなど）	8. 代用音声	9. 意思伝達装置	10. パソコン・スマートフォン	11. その他
総計	人数	1,076	24	74	63	3	106	93	127	10	17	749	167
	構成比 (%)		2.2	6.9	5.9	0.3	9.9	8.6	11.8	0.9	1.6	69.6	15.5
身体障害	人数	547	14	45	23	3	80	61	39	7	6	386	77
	構成比 (%)		2.6	8.2	4.2	0.5	14.6	11.2	7.1	1.3	1.1	70.6	14.1
知的障害	人数	129	7	9	7	-	4	13	50	-	6	37	48
	構成比 (%)		5.4	7.0	5.4	-	3.1	10.1	38.8	-	4.7	28.7	37.2
精神障害	人数	269	2	15	28	-	11	12	29	-	4	211	33
	構成比 (%)		0.7	5.6	10.4	-	4.1	4.5	10.8	-	1.5	78.4	12.3
難病	人数	131	1	5	5	-	11	7	9	3	1	115	9
	構成比 (%)		0.8	3.8	3.8	-	8.4	5.3	6.9	2.3	0.8	87.8	6.9

問 20 あなたは、症状や障害のこと、自分が使えるサービスのことについて、どのように（どこで）情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

情報入手方法は「区報や区のリーフレット」「障害者福祉のしおり」が約27%

- ・「区報や区のリーフレット」の割合が27.4%と最も高く、次いで「障害者福祉のしおり」の割合が26.8%、「医療機関を通じて」の割合が25.7%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「相談支援事業所を通じて」「家族や友人・知人を通じて」、難病で「医療機関を通じて」の割合が高くなっている。

		回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
			区報や区のリーフレット	区のホームページ	障害者福祉のしおり	相談支援事業所を通じて	障害者団体や当事者団体を通じて	医療機関を通じて	障害者施策推進課、障害者支援課、高齢福祉課、福祉総合課（福祉のコンシェルジュ）、保健所、児童相談所などを通じて	福祉施設や地域活動支援センター等を通じて
総計	人数	1,356	372	335	364	168	68	349	257	108
	構成比 (%)		27.4	24.7	26.8	12.4	5.0	25.7	19.0	8.0
身体障害	人数	665	219	185	234	43	27	141	109	30
	構成比 (%)		32.9	27.8	35.2	6.5	4.1	21.2	16.4	4.5
知的障害	人数	195	29	28	56	75	27	26	47	44
	構成比 (%)		14.9	14.4	28.7	38.5	13.8	13.3	24.1	22.6
精神障害	人数	331	75	73	53	44	9	118	66	30
	構成比 (%)		22.7	22.1	16.0	13.3	2.7	35.6	19.9	9.1
難病	人数	165	49	49	21	6	5	64	35	4
	構成比 (%)		29.7	29.7	12.7	3.6	3.0	38.8	21.2	2.4

		9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	16.
総計	人数	127	289	111	21	236	234	55	68
	構成比 (%)	9.4	21.3	8.2	1.5	17.4	17.3	4.1	5.0
身体障害	人数	48	114	54	5	104	139	21	23
	構成比 (%)	7.2	17.1	8.1	0.8	15.6	20.9	3.2	3.5
知的障害	人数	41	75	16	4	9	7	15	13
	構成比 (%)	21.0	38.5	8.2	2.1	4.6	3.6	7.7	6.7
精神障害	人数	28	73	34	12	87	59	15	23
	構成比 (%)	8.5	22.1	10.3	3.6	26.3	17.8	4.5	6.9
難病	人数	10	27	7	-	36	29	4	9
	構成比 (%)	6.1	16.4	4.2	-	21.8	17.6	2.4	5.5

福祉サービスについて（問 21～問 22）

問 21 あなたは、福祉サービスを利用するときに困ったことがありましたか。
（あてはまるものすべてに○）

「特に困ったことはない」が約 46%

- ・「特に困ったことはない」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「どんな福祉サービスがあるのか知らない」の割合が 26.1%、「どの事業者が良いかわからない（事業者情報が不十分）」の割合が 11.7%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった」「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」、精神障害で「どんな福祉サービスがあるのか知らない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった	2. サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった	3. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	4. 福祉サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	5. どの事業者が良いかわからない（事業者情報が不十分）	6. サービス等の利用計画をつくる手順や内容がわかりにくかった
			総計	人数	1,287	126	87	105
	構成比 (%)		9.8	6.8	8.2	6.7	11.7	3.7
身体障害	人数	626	46	27	48	38	54	20
	構成比 (%)		7.3	4.3	7.7	6.1	8.6	3.2
知的障害	人数	186	45	41	14	17	28	-
	構成比 (%)		24.2	22.0	7.5	9.1	15.1	-
精神障害	人数	315	29	17	35	24	57	25
	構成比 (%)		9.2	5.4	11.1	7.6	18.1	7.9
難病	人数	160	6	2	8	7	12	2
	構成比 (%)		3.8	1.3	5.0	4.4	7.5	1.3

		7. 利用方法、契約方法がわからなかった（わかりにくかった）	8. 事業者のサービス内容や対応に不満があった	9. 利用してトラブルがあった	10. 費用負担があるため、利用しづらい	11. どんな福祉サービスがあるのか知らない	12. その他	13. 特に困ったことはない
			総計	人数	100	61	48	93
	構成比 (%)		4.7	3.7	7.2	26.1	5.9	45.9
身体障害	人数	40	21	21	41	152	41	315
	構成比 (%)		6.4	3.4	3.4	6.5	24.3	6.5
知的障害	人数	12	8	7	9	20	11	79
	構成比 (%)		6.5	4.3	3.8	4.8	10.8	5.9
精神障害	人数	41	27	20	33	112	21	110
	構成比 (%)		13.0	8.6	6.3	10.5	35.6	6.7
難病	人数	7	5	-	10	52	3	87
	構成比 (%)		4.4	3.1	-	6.3	32.5	1.9

問 22 あなたは、以下の福祉サービスの中で利用したいサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「福祉サービスを必要としていない」
「介護タクシー利用補助券、福祉タクシー利用券・自動車燃料費の助成」が約 31%

- ・「福祉サービスを必要としていない」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「介護タクシー利用補助券、福祉タクシー利用券・自動車燃料費の助成」の割合が 30.7%、「ガイドヘルパーによる移動支援や同行援護」の割合が 11.9%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「短期入所」「ガイドヘルパーによる移動支援や同行援護」、精神障害で「一般就労に向けた支援（障害者就労支援センター、就労移行支援等）、就労定着支援及び就労継続支援」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護 (身体介護、家事援助、移動等)	2. 訪問看護、重症心身障害者(児)在宅レスパイト	3. 重度身体障害者等非常通報システム	4. 短期入所	5. グループホーム(共同生活)	6. 施設入所支援	7. 地域移行支援、地域定着支援	8. 自立生活援助	9. ガイドヘルパーによる移動支援や同行援護	10. 介護タクシー利用補助券、福祉タクシー利用券・自動車燃料費の助成	11. 入浴サービス	12. 配食サービス	13. 理美容サービス
			総計	人数	1,278	122	96	27	112	58	53	28	116	152	392
	構成比(%)		9.5	7.5	2.1	8.8	4.5	4.1	2.2	9.1	11.9	30.7	6.6	7.3	9.8
身体障害	人数	626	66	49	23	25	7	19	6	41	45	242	51	48	86
	構成比(%)		10.5	7.8	3.7	4.0	1.1	3.0	1.0	6.5	7.2	38.7	8.1	7.7	13.7
知的障害	人数	197	25	15	-	66	35	21	7	8	90	47	15	2	20
	構成比(%)		12.7	7.6	-	33.5	17.8	10.7	3.6	4.1	45.7	23.9	7.6	1.0	10.2
精神障害	人数	302	18	23	1	18	16	9	13	63	15	39	12	29	14
	構成比(%)		6.0	7.6	0.3	6.0	5.3	3.0	4.3	20.9	5.0	12.9	4.0	9.6	4.6
難病	人数	153	13	9	3	3	-	4	2	4	2	64	6	14	5
	構成比(%)		8.5	5.9	2.0	2.0	-	2.6	1.3	2.6	1.3	41.8	3.9	9.2	3.3

		回答者数	14. 手話通訳者の派遣	15. 補装具・日常生活用具の利用	16. 紙おむつの支給	17. 一般就労に向けた支援(障害者就労支援センター、就労移行支援等)、就労定着支援及び就労継続支援	18. 療養介護、生活介護、自立訓練等の利用	19. 児童発達支援や放課後等デイサービスの利用	20. 居宅訪問型児童発達支援	21. 保育所等訪問支援	22. 地域生活支援センター	23. 地域生活支援拠点	24. 発達支援拠点	25. その他	26. 福祉サービスを必要としていない
			総計	人数	7	128	117	149	77	31	2	6	79	23	25
	構成比(%)		0.5	10.0	9.2	11.7	6.0	2.4	0.2	6.2	1.8	2.0	5.4	31.1	
身体障害	人数	7	96	61	35	31	2	2	2	25	11	1	31	226	
	構成比(%)		1.1	15.3	9.7	5.6	5.0	0.3	0.3	0.3	4.0	1.8	0.2	5.0	36.1
知的障害	人数	-	21	35	23	19	27	-	3	9	1	3	9	21	
	構成比(%)		-	10.7	17.8	11.7	9.6	13.7	-	1.5	4.6	0.5	1.5	4.6	10.7
精神障害	人数	-	9	7	82	19	1	-	1	35	10	21	25	88	
	構成比(%)		-	3.0	2.3	27.2	6.3	0.3	-	0.3	11.6	3.3	7.0	8.3	29.1
難病	人数	-	2	14	9	8	1	-	-	10	1	-	4	62	
	構成比(%)		-	1.3	9.2	5.9	5.2	0.7	-	-	6.5	0.7	-	2.6	40.5

福祉のまちづくりについて（問 23）

問 23 あなたが外出する時に困ったり不便に感じたりすることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「特に困ったことはない」が約 32%

- ・「特に困ったことはない」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「歩道、道路、出入口に段差がある」の割合が 25.2%、「階段の昇降が困難である」の割合が 24.2%となっている。
- ・障害別でみると、他に比べ、身体障害で「歩道、道路、出入口に段差がある」、知的障害で「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」、精神障害で「障害があることや症状について理解されにくい」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 歩道、道路、出入口に段差がある	2. 階段の昇降が困難である	3. エレベーターがない	4. 路上に障害物がある	5. 標識・標示の案内がわかりにくい	6. 点字ブロック・盲人用信号がない	7. 手すりが無い	8. 付き添ってくれる人がいない
			総計	人数	1,367	344	331	322	145	96
	構成比 (%)		25.2	24.2	23.6	10.6	7.0	1.2	15.7	5.8
身体障害	人数	687	254	237	237	100	54	15	164	34
	構成比 (%)		37.0	34.5	34.5	14.6	7.9	2.2	23.9	4.9
知的障害	人数	192	27	30	19	20	15	1	12	21
	構成比 (%)		14.1	15.6	9.9	10.4	7.8	0.5	6.3	10.9
精神障害	人数	321	26	24	29	12	18	1	17	18
	構成比 (%)		8.1	7.5	9.0	3.7	5.6	0.3	5.3	5.6
難病	人数	167	37	40	37	13	9	-	21	6
	構成比 (%)		22.2	24.0	22.2	7.8	5.4	-	12.6	3.6

		9. 移動の手段がない	10. 「誰でもトイレ」が少ない	11. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	12. 乗車券の購入・料金の支払いが困難である	13. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	14. 障害があることや症状について理解されにくい	15. その他	16. 特に困ったことはない
			総計	人数	40	161	131	68	168
	構成比 (%)	2.9	11.8	9.6	5.0	12.3	23.6	5.9	32.3
身体障害	人数	28	94	81	24	43	120	41	174
	構成比 (%)	4.1	13.7	11.8	3.5	6.3	17.5	6.0	25.3
知的障害	人数	4	24	22	27	68	50	11	58
	構成比 (%)	2.1	12.5	11.5	14.1	35.4	26.0	5.7	30.2
精神障害	人数	5	19	19	13	52	116	24	143
	構成比 (%)	1.6	5.9	5.9	4.0	16.2	36.1	7.5	44.5
難病	人数	3	24	9	4	5	36	4	66
	構成比 (%)	1.8	14.4	5.4	2.4	3.0	21.6	2.4	39.5

防災について（問 24～問 26）

問 24 あなたは、災害が起きたときに備えて準備しているものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「水や食料（医療食）」が約 57%

- ・「水や食料（医療食）」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「特に何もしていない」の割合が 27.0%、「衣類やタオルなどの生活用品」の割合が 26.9%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「避難行動要支援者名簿に登録している」「避難訓練や防災訓練に参加している」、精神障害で「特に何もしていない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 水や食料（医療食）	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療用品	4. 杖や車いすなどの福祉用具	5. 非常用発電機など必要な機器の動力	6. 家具への転倒防止器具の取り付け	7. 防災手帳（災害時個別支援プラン）	8. 防災・救急医療情報キット
			総計	人数	1,388	785	374	371	109	97
	構成比 (%)		56.6	26.9	26.7	7.9	7.0	16.3	4.2	7.0
身体障害	人数	689	421	208	192	81	54	133	32	54
	構成比 (%)		61.1	30.2	27.9	11.8	7.8	19.3	4.6	7.8
知的障害	人数	194	87	40	52	11	8	24	15	6
	構成比 (%)		44.8	20.6	26.8	5.7	4.1	12.4	7.7	3.1
精神障害	人数	332	172	70	73	9	21	37	5	25
	構成比 (%)		51.8	21.1	22.0	2.7	6.3	11.1	1.5	7.5
難病	人数	173	105	56	54	8	14	32	6	12
	構成比 (%)		60.7	32.4	31.2	4.6	8.1	18.5	3.5	6.9

		9. 避難行動要支援者名簿に登録している	10. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	11. 避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している	12. 家族や親戚、支援者等との連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している	13. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	14. 避難訓練や防災訓練に参加している	15. その他	16. 特に何もしていない	
			総計	人数	98	20	231	214	167	75
	構成比 (%)		7.1	1.4	16.6	15.4	12.0	5.4	2.4	27.0
身体障害	人数	52	11	115	96	92	27	12	170	
	構成比 (%)		7.5	1.6	16.7	13.9	13.4	3.9	1.7	24.7
知的障害	人数	35	5	34	44	16	29	9	57	
	構成比 (%)		18.0	2.6	17.5	22.7	8.2	14.9	4.6	29.4
精神障害	人数	5	4	51	41	34	14	10	113	
	構成比 (%)		1.5	1.2	15.4	12.3	10.2	4.2	3.0	34.0
難病	人数	6	-	31	33	25	5	2	35	
	構成比 (%)		3.5	-	17.9	19.1	14.5	2.9	1.2	20.2

問 25 あなたは、一人で避難所に避難できますか。(1つに○)

「避難所の場所を知っており、一人で避難できる」が約 46%

- ・「避難所の場所を知っており、一人で避難できる」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「避難所を知らない」の割合が 21.1%、「避難所は知っているが、一人で避難できない」の割合が 16.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「避難所を知らない、かつ一人で避難できない」、精神障害で「避難所を知らない」、難病で「避難所の場所を知っており、一人で避難できる」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 避難所の場所を知っており、一人で避難できる	2. 避難所は知っているが、一人で避難できない	3. 避難所を知らない	4. 避難所を知らない、かつ一人で避難できない	5. その他
総計	人数	1,375	625	227	290	190	43
	構成比 (%)		45.5	16.5	21.1	13.8	3.1
身体障害	人数	688	332	123	126	80	27
	構成比 (%)		48.3	17.9	18.3	11.6	3.9
知的障害	人数	187	46	43	20	74	4
	構成比 (%)		24.6	23.0	10.7	39.6	2.1
精神障害	人数	327	146	39	106	29	7
	構成比 (%)		44.6	11.9	32.4	8.9	2.1
難病	人数	173	101	22	38	7	5
	構成比 (%)		58.4	12.7	22.0	4.0	2.9

問 26 あなたは、災害発生時や避難所での生活においてどのような支援が必要ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「自分にあった食事や必要な薬の入手」が約 52%

- ・「自分に合った食事や必要な薬を入手するための支援」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）を利用するための支援」の割合が 38.8%、「安否確認を行う」の割合が 38.0%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）を利用するための支援」、知的障害で「避難所までの移動支援」「障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 安否確認を行う	2. 避難所までの移動支援	3. 自分に合った食事や必要な薬を入手するための支援	4. 医療機器の充電や管理をするための支援	5. 避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）を利用するための支援	6. 災害発生との連絡や避難所での情報を得るための支援	7. 障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援	8. その他	9. 特にない
総 計	人数	1,368	520	374	716	152	531	382	467	54	202
	構成比 (%)		38.0	27.3	52.3	11.1	38.8	27.9	34.1	3.9	14.8
身体障害	人数	675	238	203	330	99	301	186	198	29	97
	構成比 (%)		35.3	30.1	48.9	14.7	44.6	27.6	29.3	4.3	14.4
知的障害	人数	197	90	88	87	16	79	66	115	12	26
	構成比 (%)		45.7	44.7	44.2	8.1	40.1	33.5	58.4	6.1	13.2
精神障害	人数	326	128	51	200	21	90	88	124	11	51
	構成比 (%)		39.3	15.6	61.3	6.4	27.6	27.0	38.0	3.4	15.6
難病	人数	170	64	32	99	16	61	42	30	2	28
	構成比 (%)		37.6	18.8	58.2	9.4	35.9	24.7	17.6	1.2	16.5

相談について（問 27～問 29）

問 27 あなたは、生活の中で悩みや困ったことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「老後の生活」が約 39%、「経済的なこと」が約 34%

- ・「老後の生活」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「経済的なこと」の割合が 33.7%、「将来の援助（支援・介護）のこと」の割合が 32.1%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「将来の援助（支援・介護）のこと」、精神障害で「経済的なこと」「働くこと」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 教育・学習のこと	2. 医療やリハビリのこと	3. 経済的なこと	4. 家族や家庭生活のこと	5. 現在の援助（支援・介護）のこと	6. 将来の援助（支援・介護）のこと	7. 働くこと	8. 趣味や生きがいを持つこと	9. かかりつけの病院や歯医者がないこと
総計	人数	1,374	77	274	463	264	152	441	335	214	62
	構成比 (%)		5.6	19.9	33.7	19.2	11.1	32.1	24.4	15.6	4.5
身体障害	人数	678	15	145	189	105	63	202	101	85	27
	構成比 (%)		2.2	21.4	27.9	15.5	9.3	29.8	14.9	12.5	4.0
知的障害	人数	194	8	25	26	23	31	93	30	24	5
	構成比 (%)		4.1	12.9	13.4	11.9	16.0	47.9	15.5	12.4	2.6
精神障害	人数	331	45	63	192	105	42	97	173	90	24
	構成比 (%)		13.6	19.0	58.0	31.7	12.7	29.3	52.3	27.2	7.3
難病	人数	171	9	41	56	31	16	49	31	15	6
	構成比 (%)		5.3	24.0	32.7	18.1	9.4	28.7	18.1	8.8	3.5

		10. 交通機関のこと	11. 住宅のこと	12. 必要な情報を得ること	13. 友達や相談相手を持つこと	14. 地域の理解を得ること	15. 結婚のこと	16. 社会参加のこと	17. 老後の生活	18. 現在特に悩みはない	19. その他
総計	人数	106	188	176	163	86	115	134	535	287	39
	構成比 (%)	7.7	13.7	12.8	11.9	6.3	8.4	9.8	38.9	20.9	2.8
身体障害	人数	52	80	69	32	18	22	39	233	187	15
	構成比 (%)	7.7	11.8	10.2	4.7	2.7	3.2	5.8	34.4	27.6	2.2
知的障害	人数	12	15	31	30	34	9	27	75	36	9
	構成比 (%)	6.2	7.7	16.0	15.5	17.5	4.6	13.9	38.7	18.6	4.6
精神障害	人数	31	69	57	91	30	67	60	169	25	13
	構成比 (%)	9.4	20.8	17.2	27.5	9.1	20.2	18.1	51.1	7.6	3.9
難病	人数	11	24	19	10	4	17	8	58	39	2
	構成比 (%)	6.4	14.0	11.1	5.8	2.3	9.9	4.7	33.9	22.8	1.2

問 28 あなたは、生活していく上で、悩みや困ったことは誰またはどのようなところに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親戚」が約 71%

- ・「家族・親戚」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「病院（医師・ソーシャルワーカー・看護師など）」の割合が 33.2%、「知人・友人・同じ病気や障害のある仲間」の割合が 27.8%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「福祉施設や福祉サービス事業者、地域活動支援センターの職員」「相談支援事業所の相談支援専門員」、精神障害で「病院（医師・ソーシャルワーカー・看護師など）」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 家族・親戚	2. 知人・友人・同じ病気や障害のある仲間	3. 会社の人、学校の先生	4. 病院（医師・ソーシャルワーカー・看護師など）	5. 福祉施設や福祉サービス事業者、地域活動支援センターの職員	6. 相談支援事業所の相談支援専門員	7. 地域生活支援拠点や発達支援拠点の職員
		総計	1,394	986	387	86	463	213
	人数	986	387	86	463	213	128	18
	構成比 (%)	70.7	27.8	6.2	33.2	15.3	9.2	1.3
身体障害	人数	486	201	34	191	75	26	5
	構成比 (%)	70.6	29.2	4.9	27.8	10.9	3.8	0.7
知的障害	人数	161	26	23	35	66	63	2
	構成比 (%)	81.3	13.1	11.6	17.7	33.3	31.8	1.0
精神障害	人数	208	105	19	176	61	36	9
	構成比 (%)	62.3	31.4	5.7	52.7	18.3	10.8	2.7
難病	人数	131	55	10	61	11	3	2
	構成比 (%)	75.3	31.6	5.7	35.1	6.3	1.7	1.1

	回答者数	8. 障害施策推進課 障害者支援課 高齢福祉課、福祉総合課（福祉のコンシェルジュ）、保健所、児童相談所など	9. 民生委員・児童委員	10. 地域包括支援センター	11. 社会福祉協議会	12. インターネット（SNSなどを含む）を通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	13. 相談できるところがない	14. 相談するところがわからない	15. その他
		総計	141	6	54	13	61	44	45
	人数	6	54	13	61	44	45	67	
	構成比 (%)	10.1	0.4	3.9	0.9	4.4	3.2	3.2	4.8
身体障害	人数	4	35	6	27	19	29	28	
	構成比 (%)	7.7	5.1	0.9	3.9	2.8	4.2	4.1	
知的障害	人数	-	5	2	2	1	3	14	
	構成比 (%)	-	2.5	1.0	1.0	0.5	1.5	7.1	
精神障害	人数	1	8	3	26	14	8	21	
	構成比 (%)	13.2	0.3	2.4	0.9	7.8	4.2	2.4	6.3
難病	人数	1	6	2	6	10	5	4	
	構成比 (%)	8.0	0.6	3.4	1.1	3.4	5.7	2.9	2.3

問 29 問 28 で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。(1つに○)

「解決できている」が約 44%

・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「解決できている」、精神障害で「解決できない場合がある」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 解決できている	2. 解決できない場合がある	3. わからない
総 計	人数	1,332	582	477	273
	構成比 (%)		43.7	35.8	20.5
身体障害	人数	646	313	204	129
	構成比 (%)		48.5	31.6	20.0
知的障害	人数	190	100	46	44
	構成比 (%)		52.6	24.2	23.2
精神障害	人数	326	88	170	68
	構成比 (%)		27.0	52.1	20.9
難病	人数	170	81	57	32
	構成比 (%)		47.6	33.5	18.8

権利擁護について（問 30～問 34）

問 30 あなたは、この3年間に虐待をされたと感じたことはありますか。（1つに○）

「されたことはない」が約 86%

- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害・難病で「されたことはない」、精神障害で「されたことがある」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない
総 計	人数	1,407	76	1,208	123
	構成比 (%)		5.4	85.9	8.7
身体障害	人数	702	23	638	41
	構成比 (%)		3.3	90.9	5.8
知的障害	人数	201	9	151	41
	構成比 (%)		4.5	75.1	20.4
精神障害	人数	333	44	254	35
	構成比 (%)		13.2	76.3	10.5
難病	人数	171	-	165	6
	構成比 (%)		-	96.5	3.5

★問 30 で、「1. されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 30－A 虐待をされたとき、誰またはどのようなところに相談しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族」が 29%、医療関係者が約 25%

- ・「家族」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「医療関係者」の割合が 24.6%、「誰にも相談できなかった」の割合が 17.4%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、精神障害で「医療関係者」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人	4. 会社の人	5. 保育園や幼稚園、学校などの教職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課(障害者虐待防止センター)、高齢福祉課、福祉総合課(福祉のコンシェルジュ)、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員	8. 社会福祉協議会(権利擁護センター)
総 計	人数	69	20	4	8	9	8	3	3
	構成比 (%)		29.0	5.8	11.6	13.0	11.6	4.3	4.3
身体障害	人数	19	3	2	-	3	2	1	1
	構成比 (%)		15.8	10.5	-	15.8	10.5	5.3	5.3
知的障害	人数	8	4	-	-	1	2	2	-
	構成比 (%)		50.0	-	-	12.5	25.0	25.0	-
精神障害	人数	42	13	2	8	5	4	-	2
	構成比 (%)		31.0	4.8	19.0	11.9	9.5	-	4.8
難病	人数	-	-	-	-	-	-	-	-
	構成比 (%)		-	-	-	-	-	-	-

	9. 相談支援事業所の相談支援専門員の職員	10. 福祉施設・地域活動支援センター	11. 福祉サービス事業者	12. 地域生活支援拠点や発達障害支援拠点(ほると)の職員	13. 地域包括支援センター	14. 障害者団体	15. 医療関係者	16. その他	17. 誰にも相談できなかった
総 計	人数	5	4	4	2	1	17	7	12
	構成比 (%)	7.2	5.8	5.8	2.9	1.4	24.6	10.1	17.4
身体障害	人数	2	-	2	-	-	4	2	4
	構成比 (%)	10.5	-	10.5	-	-	21.1	10.5	21.1
知的障害	人数	2	2	1	-	-	-	1	1
	構成比 (%)	25.0	25.0	12.5	-	-	-	12.5	12.5
精神障害	人数	1	2	1	2	1	13	4	7
	構成比 (%)	2.4	4.8	2.4	4.8	2.4	31.0	9.5	16.7
難病	人数	-	-	-	-	-	-	-	-
	構成比 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-

問 31 あなたは、「障害者虐待防止センター」に相談や通報ができることを知っていますか。(1つに○)

「知らない」が約 83%

・障害別にみると、大きな差はみられない。

		回答者数	1. 知っている	2. 知らない
総 計	人数	1,316	229	1,087
	構成比 (%)		17.4	82.6
身体障害	人数	647	116	531
	構成比 (%)		17.9	82.1
知的障害	人数	183	40	143
	構成比 (%)		21.9	78.1
精神障害	人数	323	44	279
	構成比 (%)		13.6	86.4
難病	人数	163	29	134
	構成比 (%)		17.8	82.2

問 32 あなたは、この3年間に差別をされたと感じたことはありますか。(1つに○)

「されたことはない」が約 66%

- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「わからない」、精神障害で「されたことがある」、難病で「されたことはない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない
総計	人数	1,370	198	905	267
	構成比 (%)		14.5	66.1	19.5
身体障害	人数	684	73	517	94
	構成比 (%)		10.7	75.6	13.7
知的障害	人数	191	22	90	79
	構成比 (%)		11.5	47.1	41.4
精神障害	人数	329	93	161	75
	構成比 (%)		28.3	48.9	22.8
難病	人数	166	10	137	19
	構成比 (%)		6.0	82.5	11.4

★問 32 で、「1. されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 32-A 「どこで」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「職場」が約 30%、「交通機関」が約 27%

- ・「職場」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「交通機関」の割合が 26.5%、「お店」の割合が 21.6%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「公共施設」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 家	2. 保育園や幼稚園・学校	3. 職場	4. 通所・入所施設	5. お店	6. 塾や習い事	7. 公共施設	8. 医療施設	9. 交通機関	10. その他
総計	人数	185	35	9	56	15	40	4	36	35	49	20
	構成比 (%)		18.9	4.9	30.3	8.1	21.6	2.2	19.5	18.9	26.5	10.8
身体障害	人数	67	8	3	17	4	12	-	18	14	13	9
	構成比 (%)		11.9	4.5	25.4	6.0	17.9	-	26.9	20.9	19.4	13.4
知的障害	人数	20	3	2	7	6	9	2	4	1	7	-
	構成比 (%)		15.0	10.0	35.0	30.0	45.0	10.0	20.0	5.0	35.0	-
精神障害	人数	89	21	4	29	5	19	2	12	19	25	11
	構成比 (%)		23.6	4.5	32.6	5.6	21.3	2.2	13.5	21.3	28.1	12.4
難病	人数	9	3	-	3	-	-	-	2	1	4	-
	構成比 (%)		33.3	-	33.3	-	-	-	22.2	11.1	44.4	-

★問 32 で、「1. されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 32-A 「誰から」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「店員等従業員」が約 29%、「勤務先の経営者・同僚」、「知らない人」が約 25%

- ・「店員等従業員」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「勤務先の経営者・同僚」の割合が 25.4%、「知らない人」の割合が 24.9%となっている。
- ・障害別にみると、大きな差はみられない。

		回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.
			家族・親族	友人・知人	学校や施設の教職員	勤務先の経営者・同僚	店員等従業員	ほかの客・利用者	近隣の人	知らない人	その他
総計	人数	181	30	12	20	46	53	37	18	45	33
	構成比 (%)		16.6	6.6	11.0	25.4	29.3	20.4	9.9	24.9	18.2
身体障害	人数	65	6	4	5	16	16	14	5	18	12
	構成比 (%)		9.2	6.2	7.7	24.6	24.6	21.5	7.7	27.7	18.5
知的障害	人数	20	3	1	7	4	7	6	2	9	2
	構成比 (%)		15.0	5.0	35.0	20.0	35.0	30.0	10.0	45.0	10.0
精神障害	人数	87	18	7	8	25	28	17	10	16	15
	構成比 (%)		20.7	8.0	9.2	28.7	32.2	19.5	11.5	18.4	17.2
難病	人数	9	3	-	-	1	2	-	1	2	4
	構成比 (%)		33.3	-	-	11.1	22.2	-	11.1	22.2	44.4

★問 32 で、「1. されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 32-A 「どのような」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「いやな気持ちになる発言・暴言」が 76%

- ・「いやな気持ちになる発言・暴言」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「後回し・別扱い」の割合が 36.1%、「入れてもらえない・対応してもらえない」の割合が 29.5%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「後回し・別扱い」、精神障害で「いやな気持ちになる発言・暴言」の割合が高くなっている。

		回答者数	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
			言・暴言 いやな気持ちになる発言・暴言	入れてもらえない・対応してもらえない	手伝わってもらえない	後回し・別扱い	建物の設備などに配慮がない(段差がある、エレベーターがないなど)	必要な情報を得られない・意思を伝えられない	その他
総計	人数	183	139	54	31	66	18	34	29
	構成比 (%)		76.0	29.5	16.9	36.1	9.8	18.6	15.8
身体障害	人数	66	44	16	10	22	12	13	8
	構成比 (%)		66.7	24.2	15.2	33.3	18.2	19.7	12.1
知的障害	人数	20	11	9	3	11	1	5	3
	構成比 (%)		55.0	45.0	15.0	55.0	5.0	25.0	15.0
精神障害	人数	88	76	28	18	33	2	16	17
	構成比 (%)		86.4	31.8	20.5	37.5	2.3	18.2	19.3
難病	人数	9	8	1	-	-	3	-	1
	構成比 (%)		88.9	11.1	-	-	33.3	-	11.1

★問 32 で、「1. されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 32-B 差別をされたとき、誰またはどのようなところに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「誰にも相談できなかった」が約 34%、「家族」が約 32%

- ・「誰にも相談できなかった」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「家族」の割合が 32.4%、「友人・知人」の割合が 18.7%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害で「友人・知人」、精神障害で「医療関係者」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人	4. 会社の人	5. 保育園や幼稚園、学校などの教職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課(障害者虐待防止センター)、高齢福祉課、福祉総合課(福祉のコンシェルジュ)、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員	8. 社会福祉協議会(権利擁護センター)
		総計	182	59	5	34	15	2	15
	構成比(%)	32.4	2.7	18.7	8.2	1.1	8.2	1.1	1.6
身体障害	64	23	1	16	3	-	2	1	2
	構成比(%)	35.9	1.6	25.0	4.7	-	3.1	1.6	3.1
知的障害	17	8	-	2	3	1	1	1	1
	構成比(%)	47.1	-	11.8	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9
精神障害	91	27	4	15	8	1	11	-	-
	構成比(%)	29.7	4.4	16.5	8.8	1.1	12.1	-	-
難病	10	1	-	1	1	-	1	-	-
	構成比(%)	10.0	-	10.0	10.0	-	10.0	-	-

	9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 福祉施設・地域活動支援センターの職員	11. 福祉サービス事業者	12. 地域生活支援拠点や発達障害支援拠点(ほると)の職員	13. 地域包括支援センター	14. 障害者団体	15. 医療関係者	16. その他	17. 誰にも相談できなかった
		総計	8	7	4	3	4	2	32
	構成比(%)	4.4	3.8	2.2	1.6	2.2	17.6	7.1	33.5
身体障害	1	2	3	1	2	2	5	6	20
	構成比(%)	1.6	3.1	4.7	1.6	3.1	7.8	9.4	31.3
知的障害	4	2	-	-	1	-	1	1	8
	構成比(%)	23.5	11.8	-	-	5.9	5.9	5.9	47.1
精神障害	3	3	1	2	1	-	25	4	29
	構成比(%)	3.3	3.3	1.1	2.2	1.1	27.5	4.4	31.9
難病	-	-	-	-	-	-	1	2	4
	構成比(%)	-	-	-	-	-	10.0	20.0	40.0

問 33 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つに○)

「法律名も内容も知らない」が約 75%

- ・「法律名も内容も知らない」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「法律名は知っているが、内容は知らない」の割合が 15.8%となっている。
- ・障害別にみると、大きな差はみられない。

		回答者数	1. 法律名も内容も知っている	2. 法律名は知っているが、内容は知らない	3. 法律名も内容も知らない
総計	人数	1,358	122	215	1,021
	構成比 (%)		9.0	15.8	75.2
身体障害	人数	669	62	120	487
	構成比 (%)		9.3	17.9	72.8
知的障害	人数	182	12	25	145
	構成比 (%)		6.6	13.7	79.7
精神障害	人数	334	34	45	255
	構成比 (%)		10.2	13.5	76.3
難病	人数	173	14	25	134
	構成比 (%)		8.1	14.5	77.5

問 34 障害や高齢化などにより、自分ひとりで判断することが難しい方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。または、利用したいですか。(1つに○)

「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」が約 43%

- ・「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「どのような制度か知らない」の割合が 41.8%、「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」の割合が 12.3%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、身体障害・難病で「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」、知的障害で「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」、精神障害で「どのような制度か知らない」の割合が高くなっている。

		回答者数	1. 成年後見制度をすでに利用している	2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	4. どのような制度か知らない
総計	人数	1,341	37	165	579	560
	構成比 (%)		2.8	12.3	43.2	41.8
身体障害	人数	665	16	77	333	239
	構成比 (%)		2.4	11.6	50.1	35.9
知的障害	人数	182	12	43	40	87
	構成比 (%)		6.6	23.6	22.0	47.8
精神障害	人数	330	7	30	118	175
	構成比 (%)		2.1	9.1	35.8	53.0
難病	人数	164	2	15	88	59
	構成比 (%)		1.2	9.1	53.7	36.0

障害がある人のための取り組みについて（問 35）

問 35 あなたは、障害のある方が、必要な支援を受けながら地域で自立した生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「相談支援の充実」が約 60%

- ・「相談支援の充実」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「情報保障（必要な情報の取得や円滑な意思疎通のための取組）の充実」の割合が 40.9%、「障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発」の割合が 36.2%となっている。
- ・障害別にみると、他に比べ、知的障害で「短期入所の充実」「グループホームなど地域での生活の場の整備」、精神障害で「障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発」、難病で「医療的ケアを必要とする人への支援の充実」の割合が高くなっている。

	回答者数	1. 相談支援の充実	2. 情報保障(必要な情報の取得や円滑な意思疎通のための取組)の充実	3. 機能訓練や生活訓練の充実	4. 日中活動の場である通所施設の整備	5. ホームヘルプサービスや訪問看護、重症心身障害者(児)在宅レスパイト、入浴サービスなどの在宅生活に必要なサービスの充実	6. 短期入所の充実	7. 日常生活に必要な移動支援や同行援護の充実	8. 住宅情報の提供や障害者向け住宅の充実
総計	人数 1,380	823 59.6	564 40.9	389 28.2	330 23.9	449 32.5	255 18.5	395 28.6	345 25.0
身体障害	人数 684	389 56.9	266 38.9	216 31.6	150 21.9	248 36.3	123 18.0	202 29.5	169 24.7
知的障害	人数 199	102 51.3	78 39.2	25 12.6	65 32.7	57 28.6	63 31.7	67 33.7	49 24.6
精神障害	人数 329	221 67.2	152 46.2	90 27.4	72 21.9	77 23.4	36 10.9	67 20.4	85 25.8
難病	人数 168	111 66.1	68 40.5	58 34.5	43 25.6	67 39.9	33 19.6	59 35.1	42 25.0

	9. グループホームなど地域での生活の場の整備	10. 障害の早期発見・早期療育体制の充実	11. 障害特性にあった適切な保育、教育の充実	12. 医療的ケアを必要とする人への支援の充実	13. 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	14. ボランティア活動などの地域活動の促進	15. ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりや利用しやすい交通機関等の整備	16. 障害への理解を促進する教育や交流の促進	17. 障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発
総計	人数 278	285 20.7	328 23.8	498 36.1	406 29.4	174 12.6	340 24.6	425 30.8	499 36.2
身体障害	人数 90	112 16.4	146 21.3	262 38.3	167 24.4	73 10.7	185 27.0	171 25.0	201 29.4
知的障害	人数 104	30 15.1	44 22.1	51 25.6	48 24.1	36 18.1	46 23.1	66 33.2	81 40.7
精神障害	人数 50	97 29.5	97 29.5	103 31.3	132 40.1	41 12.5	64 19.5	131 39.8	159 48.3
難病	人数 34	46 27.4	41 24.4	82 48.8	59 35.1	24 14.3	45 26.8	57 33.9	58 34.5

	18. 人権を守る仕組みの充実	19. 緊急時や災害時の対策促進	20. 福祉人材の確保	21. ヤングケアアラに対する支援の充実	22. ひきこもりの相談支援の充実	23. その他	24. 特にない
総計	人数 347	451 32.7	380 27.5	331 24.0	261 18.9	74 5.4	103 7.5
身体障害	人数 144	243 35.5	173 25.3	167 24.4	94 13.7	32 4.7	62 9.1
知的障害	人数 40	57 28.6	78 39.2	27 13.6	22 11.1	13 6.5	11 5.5
精神障害	人数 119	85 25.8	82 24.9	81 24.6	100 30.4	23 7.0	20 6.1
難病	人数 44	66 39.3	47 28.0	56 33.3	45 26.8	6 3.6	10 6.0

2 児童の保護者向けアンケート

保護者の方について（問1～問2）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（1つに○）

・「母親」の割合が78.3%と最も高く、次いで「父親」の割合が21.2%となっている。

		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 両親以外の家族	4. その他
児童	人数	212	45	166	1	-
	構成比 (%)		21.2	78.3	0.5	-

問2 お子さんのご家族の就労状況をお聞きします。（あてはまるものすべてに○）

・「父親がフルタイム勤務」の割合が85.4%と最も高く、次いで「母親が就労していない」の割合が37.7%、「母親がフルタイム勤務」の割合が29.2%となっている。

		回答者数	1. 父親がフルタイム勤務	2. 父親がパート・アルバイト勤務	3. 父親が就労していない	4. 母親がフルタイム勤務	5. 母親がパート・アルバイト勤務	6. 母親が就労していない	7. 両親以外の保護者がフルタイム勤務	8. 両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務	9. 両親以外の保護者が就労していない	10. その他
児童	人数	212	181	6	1	62	47	80	1	1	4	5
	構成比 (%)		85.4	2.8	0.5	29.2	22.2	37.7	0.5	0.5	1.9	2.4

お子さんのことについて（問3～問10）

問3 発達に関する不安をお持ちのお子さん、障害のあるお子さんの性別と令和4年9月1日現在の年齢をお答えください。（2人以上のお子さんがいらっしゃる場合はそれぞれにお書きください。）

- ・「男性」の割合が73.1%、「女性」の割合が38.7%となっている。
- ・「6～10歳」の割合が45.3%と最も高く、次いで「0～5歳」の割合が41.5%、「11～15歳」の割合が20.3%となっている。

		回答者数	1. 男性	2. 女性	3. その他
児童	人数	212	155	82	-
	構成比 (%)		73.1	38.7	-

※212名の回答者（保護者）のうち、22名は対象となるお子さんが2人、3名はお子さんが3人いるため、構成比の合計が100%を越えている。

		回答者数	1. 0 ～ 5 歳	2. 6 ～ 10 歳	3. 11 ～ 15 歳	4. 16 ～ 20 歳	5. 21 歳 以上
児童	人数	212	88	96	43	8	1
	構成比 (%)		41.5	45.3	20.3	3.8	0.5

※212名の回答者（保護者）のうち、21名は対象となるお子さんが2人、3名はお子さんが3人いるため、構成比の合計が100%を越えている。

問4 お子さんの発達に関する不安や障害、現在お持ちの手帳、障害の程度等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

・「発達障害」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「言語発達に関する不安」の割合が 41.2%、「対人関係等コミュニケーションに関する不安」の割合が 38.4%となっている。

		回答者数	1. 身体障害者手帳	2. 愛の手帳	3. 精神障害者保健福祉手帳	4. 難病	5. 高次脳機能障害	6. 発達障害	7. 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
児童	人数	211	43	80	5	16	4	104	13
	構成比 (%)		20.4	37.9	2.4	7.6	1.9	49.3	6.2
		8. 定期的な服薬や自己注射	9. 小さく産まれた子どもの発達に関する不安	10. 言語発達に関する不安	11. 運動発達に関する不安	12. 多動や衝動性等行動に関する不安	13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安	14. その他	15. 特になし
児童	人数	21	11	87	65	46	81	13	3
	構成比 (%)		10.0	5.2	41.2	30.8	21.8	38.4	6.2

問4—1 身体障害者手帳の級数（知的障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して身体障害者手帳を保有している場合の身体障害者手帳の級数）

・「1級」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「2級」の割合が 20.0%、「3級」「6級」の割合が 10.0%となっている。

		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級	5. 5級	6. 6級
児童	人数	40	22	8	4	2	-	4
	構成比 (%)		55.0	20.0	10.0	5.0	-	10.0

問4-2 愛の手帳の度数（身体障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して愛の手帳を保有している場合の愛の手帳の度数）

・「2度」の割合が35.9%と最も高く、次いで「4度」の割合が33.3%、「3度」の割合が26.9%となっている。

		回答者数	1. 1度	2. 2度	3. 3度	4. 4度
児童	人数	78	3	28	21	26
	構成比 (%)		3.8	35.9	26.9	33.3

問4-3 精神障害者保健福祉手帳の級数（身体障害の方、知的障害の方、難病の方は、重複して精神障害者保健福祉手帳を保有している場合の精神障害者保健福祉手帳の級数）

・「2級」が60.0%、「3級」が40.0%となっている。

		回答者数	1. 1級	2. 2級	3. 3級
児童	人数	5	-	3	2
	構成比 (%)		-	60.0	40.0

★身体障害者手帳をお持ちの場合にお聞きします。

問4-A 主な障害の部位は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

・「肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）」の割合が65.1%と最も高く、次いで「内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）」の割合が20.9%、「聴覚・平衡機能」の割合が16.3%となっている。

		回答者数	1. 視覚	2. 聴覚・平衡機能	3. 音声・言語・そしゃく機能	4. 肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）	5. 内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）	6. その他
児童	人数	43	3	7	6	28	9	1
	構成比 (%)		7.0	16.3	14.0	65.1	20.9	2.3

問5 障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに○)

・「乳幼児期から小学校入学前まで」の割合が76.6%と最も高く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」の割合が11.7%、「生まれたとき」の割合が10.6%となっている。

		回答者数	1. 生まれたとき	2. 乳幼児期から 小学校入学前まで	3. 小学校入学後か ら小学校卒業まで	4. 中学校入学以降
児童	人数	94	10	72	11	1
	構成比 (%)		10.6	76.6	11.7	1.1

問6 お子さんは、現在医療的ケアを受けていますか。(1つに○)

・「受けている」の割合が18.8%、「受けていない」の割合が81.3%となっている。

		回答者数	1. 受けている	2. 受けていない
児童	人数	192	36	156
	構成比 (%)		18.8	81.3

★問6で「1 受けている」と回答した方におたずねします。

問6-A お子さんが現在受けている医療的ケアをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

・「服薬管理」の割合が42.9%と最も高く、次いで「吸引」の割合が34.3%となっている。

		回答者数	1. 気管切開	2. 人工呼吸器 (レスピレーター)	3. 吸入	4. 吸引	5. 胃ろう・腸ろう	6. 鼻腔経管栄養
児童	人数	35	7	8	8	12	5	7
	構成比 (%)		20.0	22.9	22.9	34.3	14.3	20.0

		7. 中心静脈栄養 (IVH)	8. 透析	9. カテーテル留置	10. ストマ(人工肛 門・人工膀胱)	11. 服薬管理	12. その他
児童	人数	-	-	1	-	15	10
	構成比 (%)	-	-	2.9	-	42.9	28.6

問7 お子さんは、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」が約 98%

・「母親」の割合が 97.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が 88.0%、「兄弟姉妹」の割合が 56.3%となっている。

		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹	6. その他の親族	7. その他
児童	人数	208	183	203	7	16	117	2	2
	構成比 (%)		88.0	97.6	3.4	7.7	56.3	1.0	1.0

問8 お子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」が約 95%

・「母親」の割合が 95.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が 73.4%、「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員」の割合が 61.8%となっている。

		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹(兄弟姉妹の配偶者を含む)	6. その他の親族	7. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	8. 保育園・幼稚園・学校の教職員
児童	人数	207	152	197	17	29	24	5	28	122
	構成比 (%)		73.4	95.2	8.2	14.0	11.6	2.4	13.5	58.9

		9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	11. 入所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員(保健所等)	15. 介護や支援は必要ない	16. その他
児童	人数	49	128	4	3	1	5	3	5
	構成比 (%)	23.7	61.8	1.9	1.4	0.5	2.4	1.4	2.4

問8-A 問8で回答した中で、主に介護や支援をしている方

・「母親」の割合が89.9%と最も高くなっている。

		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹(兄弟姉妹の配偶者を含む)	6. その他の親族	7. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	8. 職員 保育園・幼稚園・学校の教員
児童	人数	197	6	178	1	-	1	1	1	1
	構成比(%)		3.0	89.9	0.5	-	0.5	0.5	0.5	0.5
		9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	11. 入所施設や病院の職員・世話人	12. 友人・知人	13. ボランティア・NPO職員	14. 公的機関の職員(保健所等)	15. 介護や支援は必要ない	16. その他	
児童	人数	-	7	1	-	-	-	1	-	-
	構成比(%)	-	3.5	0.5	-	-	-	0.5	-	-

問8-B 問8-Aの「主に介護や支援をしている人」の年齢はいくつですか。(1つに○)

・「40歳～64歳」の割合が72.7%と最も高く、次いで「23歳～39歳」の割合が23.7%となっている。

		回答者数	1. 13歳未満	2. 13歳～15歳	3. 16歳～18歳	4. 19歳～22歳	5. 23歳～39歳	6. 40歳～64歳	7. 65歳～74歳	8. 75歳以上
児童	人数	198	5	1	-	-	47	144	-	1
	構成比(%)		2.5	0.5	-	-	23.7	72.7	-	0.5

問9 お子さんは、平日の日中、どのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「幼稚園・保育園に通っている」が約40%

・「幼稚園・保育園に通っている」の割合が39.6%と最も高く、次いで「児童発達支援事業所等に通っている」の割合が30.7%、「特別支援学校に通っている(訪問学級を含む)」の割合が19.3%となっている。

		回答者数	1. 幼稚園・保育園に通っている	2. 区立小中学校の通常学級に通っている	3. 区立小中学校の通常学級に通いながら、特別支援教室を利用している	4. 区立小中学校の特別支援学級に通っている	5. 特別支援学校に通っている(訪問学級を含む)	6. 児童発達支援事業所等に通っている	7. 家で過ごしているが、ときどき散歩や買い物に連れて行く	8. 戸外に連れて行きたいが、手が足りず、家で過ごす	9. 戸外へ連れて行きたいが、出かけたがらず、家にいる	10. その他
児童	人数	212	84	23	20	30	41	65	17	4	3	16
	構成比(%)		39.6	10.8	9.4	14.2	19.3	30.7	8.0	1.9	1.4	7.5

問10 新型コロナウイルス感染症によるお子さんの日常生活への影響で、あなたが特に困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強する機会や友人等との交流機会の減少」が約61%

・「お子さんの勉強する機会や友人等との交流機会の減少」の割合が60.7%と最も高く、次いで「外出の制限」の割合が51.2%、「お子さんの運動・スポーツの機会の減少」の割合が49.8%となっている。

		回答者数	1. お子さんの勉強する機会や友人等との交流機会の減少	2. お子さんの運動・スポーツの機会の減少	3. あなたの収入の減少	4. あなたの仕事がなくなった・仕事が減った	5. あなたの働き方の変化	6. 世帯の支出の増加	7. 生活必需品の確保	8. 外出の制限	9. お子さんと家族の健康悪化	10. その他	11. 特にない
児童	人数	211	128	105	19	8	19	34	4	108	23	22	25
	構成比(%)		60.7	49.8	9.0	3.8	9.0	16.1	1.9	51.2	10.9	10.4	11.8

発達不安や障害に気づいたときについて（問 11～問 13）

問 11 お子さんの発達不安や障害に気づいたきっかけは何ですか。（1つに○）

「家族が気づいた」が約 39%

- ・「家族が気づいた」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき」の割合が 20.8%となっている。
- ・その他としては、主に「生まれたとき」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1. 家族が気づいた	2. 定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき	3. 病院で受診したとき	4. 保育園・幼稚園・学校の教職員から	5. その他
児童	人数	207	81	43	21	24	38
	構成比 (%)		39.1	20.8	10.1	11.6	18.4

問 11-A 発達不安や障害に気付いたときのお子さんの年齢

- ・「1歳～3歳」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「1歳未満」の割合が 27.9%、「4歳～6歳」の割合が 10.8%となっている。

		回答者数	1. 1歳未満	2. 1歳～3歳	3. 4歳～6歳	4. 7歳以上
児童	人数	204	57	118	22	7
	構成比 (%)		27.9	57.8	10.8	3.4

問 12 お子さんの発達の不安や障害に気づいたとき、主に誰(どこ)に相談しましたか。
(1つに○)

「主治医・かかりつけの病院」への相談が約 33%

・「主治医・かかりつけの病院」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「児童発達支援センター(すくすくのびのび園)」の割合が 31.7%となっている。

		回答者数	1. 家族・親族	2. 主治医・かかりつけの病院	3. 区役所	4. 保健所	5. 児童発達支援センター(すくすくのびのび園)	6. 障害児相談支援事業所	7. 保育園・幼稚園・学校の教職員	8. 子ども家庭支援センター(ほねっと)	9. めぐる学校サポートセンター	10. 発達障害支援拠点(ぼると)	11. その他
			児童	人数	186	18	62	5	17	59	3	11	-
	構成比 (%)		9.7	33.3	2.7	9.1	31.7	1.6	5.9	-	1.1	0.5	4.3

問 13 発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門家による相談体制を充実させる」が約 88%

・「専門家による相談体制を充実させる」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「関連するサービスについての情報提供を充実させる」の割合が 58.3%、「乳幼児の健康診断を充実させる」の割合が 37.0%となっている。

		回答者数	1. 専門家による相談体制を充実させる	2. 乳幼児の健康診断を充実させる	3. 電話・メールによる相談体制を充実させる	4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる	5. 居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供	6. その他
			児童	人数	211	186	78	58
	構成比 (%)		88.2	37.0	27.5	58.3	36.5	9.5

お子さんの教育・療育について（問 14～問 18）

★就学前のお子さんについてお聞きします。

問 14 お子さんが受けている療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「会話などコミュニケーションに対する支援」が 63%

・「会話などコミュニケーションに対する支援」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「友達など、人との関わり方に対する支援」の割合が 56.5%、「保護者への支援」の割合が 55.2%となっている。

		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 言葉や読み書きに対する支援	4. 友達など、人との関わり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設
児童	人数	154	97	54	84	87	85	84
	構成比 (%)		63.0	35.1	54.5	56.5	55.2	54.5
		助 7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど、通所・通園に対するサービス	9. 療育の内容や施設についての情報	10. 自宅での療育	11. 療育施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ	12. 医療的ケアが必要な児童への支援	13. その他
児童	人数	61	62	82	36	70	31	7
	構成比 (%)	39.6	40.3	53.2	23.4	45.5	20.1	4.5

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 15 お子さんが受けている教育や学校生活について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「学習指導」、「教職員の理解・支援」が約 58%

・「学習指導」「教職員の理解・支援」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「友人との関係づくり」の割合が 47.7%となっている。

		回答者数	1. 学習指導	2. 学校や施設の整備	3. ガイドヘルパーによる通学時の介助	4. スクールバスによる通学時の送迎	5. 日常生活に対する支援	6. カウンセリングなどの心のサポート	7. 友人との関係づくり	8. 教職員の理解・支援	9. 周囲の保護者の理解	10. 就労に向けた教育	11. クラブ・部活動などの課外活動	12. その他
児童	人数	109	63	43	24	31	41	40	52	63	35	40	24	8
	構成比 (%)		57.8	39.4	22.0	28.4	37.6	36.7	47.7	57.8	32.1	36.7	22.0	7.3

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 16 お子さんは、放課後や夏休みなどの長期休業中は、どのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「自宅で家族と過ごす」が約 83%

・「自宅で家族と過ごす」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する」の割合が 71.2%、「家族と旅行や普段行けないところへ出かける」の割合が 63.1%となっている。

		回答者数	1. 自宅で家族と過ごす	2. 家族と旅行や普段行けないところへ出かける	3. 友達と遊ぶ	4. 学習塾・習い事やスポーツなどをやる	5. クラブ活動・部活動(学校内)をする	6. 児童館・学童保育クラブへ行く
児童	人数	111	92	70	16	40	3	24
	構成比 (%)		82.9	63.1	14.4	36.0	2.7	21.6

		回答者数	7. 子ども教室やランドセルひろば(ランランひろば)を利用する	8. 放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する	9. 一人では外出できないので、家にいる	10. ガイドヘルパーなどと外出する	11. 一人で過ごす	12. 特になにもしていない	13. その他
児童	人数	8	79	20	2	8	1	3	
	構成比 (%)		7.2	71.2	18.0	1.8	7.2	0.9	2.7

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 17 放課後や夏休みなどの長期休業中に、お子さんをどのように過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい」が約 84%

・「家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「同世代の子どもと遊ばせたい」の割合が 64.9%、「放課後等デイサービスを利用させたい」の割合が 57.7%となっている。

		回答者数	1. 家族と旅行や普段行けないところへ出かけたい	2. 同世代の子どもと遊ばせたい	3. 学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごさせたい	4. 子ども教室やランランひろばを利用させたい	5. 学習塾・習い事やスポーツなどをさせたい	6. 放課後等デイサービスを利用させたい	7. ガイドヘルパーなどと外出させたい	8. 自宅で過ごさせたい	9. その他	10. 特にない
児童	人数	111	93	72	32	22	50	64	20	10	3	1
	構成比 (%)		83.8	64.9	28.8	19.8	45.0	57.7	18.0	9.0	2.7	0.9

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 18 お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

「学習に対する支援」が約 66%

・「学習に対する支援」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「会話などコミュニケーションに対する支援」の割合が 63.1%、「療育を行う施設の増設」の割合が 54.1%となっている。

		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 学習に対する支援	4. 友達など人のかかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通学に対するサービス
児童	人数	111	70	23	73	57	51	60	52	49
	構成比 (%)		63.1	20.7	65.8	51.4	45.9	54.1	46.8	44.1
		9. 外出時のガイドヘルパーによる移動支援	10. 療育の内容や施設についての情報	11. 自宅での療育・居宅介護や訪問看護	12. 施設や学校教職員のスキルアップ	13. 医療的ケアが必要な児童への支援	14. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援	15. 特にない	16. その他	
児童	人数	25	44	17	53	19	42	3	8	
	構成比 (%)	22.5	39.6	15.3	47.7	17.1	37.8	2.7	7.2	

お子さんの将来のことについて（問 19～問 22）

問 19 お子さんには、将来どのように暮らしてほしいですか。（1つに○）

「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」が約 51%

- ・「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい」の割合が 19.7%、「自宅で家族と暮らしてほしい」の割合が 18.2%となっている。

		回答者数	1. 自宅で家族と暮らしてほしい	2. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい	3. グループホームのようなどころ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい	4. 障害者入所施設等で暮らしてほしい	5. その他	6. わからない
児童	人数	203	37	104	40	1	7	14
	構成比 (%)		18.2	51.2	19.7	0.5	3.4	6.9

問 20 お子さんの将来のことで、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「本人なりに充実した生活を送れるか」が 71%

「お子さんの進学のこと」が約 65%

- ・「本人なりに充実した生活を送れるか」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「お子さんの就職のこと」の割合が 68.1%、「お子さんの進学のこと」の割合が 64.8%となっている。

		回答者数	1. お子さんの進学のこと	2. お子さんの就職のこと	3. お子さんの結婚のこと	4. 友人や仲間、理解者がいるか	5. 将来、家族と離れて自立した生活ができるか	6. 将来の住まいについて
児童	人数	210	136	143	75	133	121	98
	構成比 (%)		64.8	68.1	35.7	63.3	57.6	46.7

		7. 将来の生活の経済的な保証について	8. 将来の介護者について	9. 本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか	10. 緊急時や困った時に助けを求められるか	11. 本人なりに充実した生活を送れるか	12. その他	13. 不安に思うことはない
児童	人数	116	84	80	107	149	8	6
	構成比 (%)	55.2	40.0	38.1	51.0	71.0	3.8	2.9

問 21 お子さんが、将来、地域で自立して生活するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「就労の場」が約 71%
「身近な相談相手」が 66%

・「就労の場」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「身近な相談相手」の割合が 66.0%、「地域の理解」の割合が 62.1%となっている。

		回答者数	1. 地域の理解	2. 就労の場	3. 生活費の支援	4. 住居の支援	5. 身近な相談相手	6. 家族や支援者(ホームヘルパーなど)	7. 自立生活プログラムの実践	8. その他
児童	人数	206	128	146	109	91	136	114	92	10
	構成比 (%)		62.1	70.9	52.9	44.2	66.0	55.3	44.7	4.9

問 22 お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「就労に必要なコミュニケーション技術等の習得」が約 70%
「就職に必要な知識・技術等の習得」が 67%

・「就労に必要なコミュニケーション技術等の習得」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「就職に必要な知識・技術等の習得」の割合が 67.0%、「企業、上司、同僚の理解」の割合が 65.0%となっている。

		回答者数	1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発	2. 就職に向けた相談	3. 給料が充実していること	4. 就職先の紹介等の支援	5. 就職に必要な知識・技術等の習得	6. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	7. 本人の健康管理等の支援	8. 障害特性に配慮した職場環境の整備	9. 就職後の相談・支援(定着支援)	10. 企業、上司、同僚の理解	11. その他
児童	人数	203	117	117	79	112	136	141	68	120	111	132	10
	構成比 (%)		57.6	57.6	38.9	55.2	67.0	69.5	33.5	59.1	54.7	65.0	4.9

お子さんとの外出について（問 23～問 24）

問 23 お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに、困ったり不便を感じたりすることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が約 41%、
「障害があることや症状について理解されにくい」が約 40%

- ・「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「障害があることや症状について理解されにくい」の割合が 40.3%、「周りの目が気になる」の割合が 26.2%となっている。

		回答者数	1. 歩道、道路、出入口に段差がある	2. 階段の昇降が困難である	3. エレベーターがない	4. 路上に障害物がある	5. 標識・標示の案内がわかりにくい	6. 保護者以外の介助者や付き添いがいない	7. お子さんが使えるトイレがない（子ども用トイレや「誰でもトイレ」）
児童	人数	206	23	24	37	13	19	47	28
	構成比 (%)		11.2	11.7	18.0	6.3	9.2	22.8	13.6
		8. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	9. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	10. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	11. 障害があることや症状について理解されにくい	12. 周りの目が気になる	13. その他	14. 大変なので、外出は控えている	15. 困ったり不便に感じることはない
児童	人数	21	52	84	83	54	24	35	30
	構成比 (%)	10.2	25.2	40.8	40.3	26.2	11.7	17.0	14.6

問 24 お子さんとの外出時に、どのような支援やサービスがあると良いと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約 63%

・「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「電車やバス、タクシー運賃の補助」の割合が 42.2%、「施設の入園料・入場料の補助や割引」の割合が 38.2%となっている。

		回答者数	1. 外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣	2. 電車やバス、タクシー運賃の補助	3. 施設の入園料・入場料の補助や割引	4. 交通や施設のバリアフリー情報（エレベーター・「誰でもトイレ」等）	5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	6. その他	7. 支援やサービスは必要ない
児童	人数	204	64	86	78	49	129	9	25
	構成比 (%)		31.4	42.2	38.2	24.0	63.2	4.4	12.3

福祉サービスについて（問 25～問 27）

問 25 お子さんは、以下の福祉サービスを利用していますか（利用したことがありますか）。（あてはまるものすべてに○）

「児童発達支援」が約 61%

・「児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 48.3%、「訪問看護」の割合が 18.0%となっている。

		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	205	11	37	20	3	10	10	10	27
	構成比 (%)		5.4	18.0	9.8	1.5	4.9	4.9	4.9	13.2
		9. 紙おむつの支給	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 保育所等訪問支援	14. 緊急介護事業	15. 福祉サービスについて知らなかった	16. 現在、福祉サービスを利用する必要がある	17. その他
児童	人数	29	124	13	99	17	3	4	7	5
	構成比 (%)	14.1	60.5	6.3	48.3	8.3	1.5	2.0	3.4	2.4

★問 25 の福祉サービスを利用しているお子さんについてお聞きします。

問 26 福祉サービスを利用するとき何か困ったことはありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「どの事業者が良いのかわからない」が約 42%
「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」が約 38%

・「どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」の割合が 37.7%、「サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった」の割合が 28.4%となっている。

		回答者数	1. 必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった	2. サービス提供事業所や人員の不足によりサービスが使えなかった	3. 利用資格や条件があわず、使いたい福祉サービスが使えなかった	4. 福祉サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	5. どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）	6. 利用方法、契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）
児童	人数	183	69	52	27	24	76	21
	構成比 (%)		37.7	28.4	14.8	13.1	41.5	11.5
			7. 事業者のサービス内容や対応に不満があった	8. 利用してトラブルがあった	9. 費用負担があるため、利用しづらい	10. どんな福祉サービスがあるのかわからない	11. その他	12. 特に困ったことはない
児童	人数	22	7	16	24	31	38	
	構成比 (%)		12.0	3.8	8.7	13.1	16.9	20.8

問 27 今後、以下の福祉サービスの中で利用したいサービスはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「放課後等デイサービス」が約 57%

・「放課後等デイサービス」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）」の割合が 31.3%、「ガイドヘルパーによる移動支援」の割合が 21.9%となっている。

		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	201	9	18	44	6	35	20	20	22
	構成比 (%)		4.5	9.0	21.9	3.0	17.4	10.0	10.0	10.9
		9. 紙おむつの支給	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 保育所等訪問支援	14. 緊急介護事業	15. 利用したいサービスがない	16. その他	17. わからない
児童	人数	21	63	27	115	28	11	11	8	9
	構成比 (%)	10.4	31.3	13.4	57.2	13.9	5.5	5.5	4.0	4.5

コミュニケーションや情報の入手方法について（問 28～問 30）

問 28 お子さんが他人とのコミュニケーションに制限を受けていると思うことがありますか。（1つに○）

他人とのコミュニケーションに制限を受けていることが「ない」が約 38%

・「ない」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が 33.8%、「時々ある」の割合が 28.0%となっている。

		回答者数	1. ある	2. 時々ある	3. ない
児童	人数	207	70	58	79
	構成比 (%)		33.8	28.0	38.2

★問 28 で「1. ある」「2. 時々ある」と回答した方におたずねします。

問 28-A お子さんが他人とのコミュニケーションを確保するに当たり支障となっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「読み取り、発語に時間がかかる」が約 54%

・「読み取り、発語に時間がかかる」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「障害に対する周囲の理解不足」の割合が 39.1%、「文字等の記号の認識ができない」の割合が 28.1%となっている。

		回答者数	1. 視覚に障害がある	2. 聴覚に障害がある	3. 文字等の記号の認識ができない	4. 読み取り、発語に時間がかかる	5. 障害に対する周囲の理解不足	6. その他
児童	人数	128	8	11	36	69	50	34
	構成比 (%)		6.3	8.6	28.1	53.9	39.1	26.6

問 29 情報発信や情報取得に当たり、お子さんに適した方法は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

情報発信や情報取得に適した方法は「絵図・写真」が約 59%

- ・「絵図・写真（コミュニケーションボードなど）」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「パソコン・スマートフォン」の割合が 45.9%、「音声による読み上げ（Uni-voice コードなど）」の割合が 15.9%となっている。
- ・その他としては、主に「保護者や友人等によるサポートを通じて」という趣旨の内容が記載されている。

		回答者数	1. 手話	2. 筆談	3. 要約筆記	4. 点字	5. 拡大鏡・拡大文字	6. 音声による読み上げ (Uni-voice コードなど)	7. 絵図・写真 (コミュニケーションボードなど)	8. 代用音声	9. 意思伝達装置	10. パソコン・スマートフォン	11. その他
児童	人数	170	6	7	12	-	4	27	101	1	8	78	30
	構成比 (%)		3.5	4.1	7.1	-	2.4	15.9	59.4	0.6	4.7	45.9	17.6

問 30 発達に関する不安や障害等のことやお子さんが使えるサービスのことについて、どのように（どこで）情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」が約 49%

- ・「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「相談支援事業所を通じて」の割合が 41.3%、「同じ病気や障害のある仲間を通じて」の割合が 36.5%となっている。

		回答者数	1. 区報や区のリーフレット	2. 区のホームページ	3. 障害者福祉のしおり	4. 公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員を通じて	5. 相談支援事業所を通じて	6. 障害者団体や当事者団体を通じて
児童	人数	208	55	52	49	64	86	26
	構成比 (%)		26.4	25.0	23.6	30.8	41.3	12.5

		7. 医療機関を通じて	8. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて	9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて	10. ボランティア等を通じて	11. 福祉サービス事業者を通じて	12. 区のホームページ以外のインターネット (SNSを含む) を通じて	13. その他
児童	人数	43	101	76	2	12	54	10
	構成比 (%)	20.7	48.6	36.5	1.0	5.8	26.0	4.8

相談について（問 31～問 33）

問 31 お子さんのことで悩みや困ったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「お子さんの育児や教育のこと」が約 72%

- ・「お子さんの育児や教育のこと」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと」の割合が 39.2%、「親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと」の割合が 33.0%となっている。

		回答者数	1. お子さんの育児や教育のこと	2. 現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと	3. 現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと	4. 医療費など経済的なこと	5. 交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと	6. かかりつけの病院や歯科診療所がないこと	7. 子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	8. お子さんを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと
児童	人数	212	153	36	83	31	27	21	49	47
	構成比 (%)		72.2	17.0	39.2	14.6	12.7	9.9	23.1	22.2
		9. お子さんに友達や相談相手がないこと	10. お子さんの発達の不安や障害及び必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと	11. 保育園や幼稚園及び学校でのトラブル	12. 親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと	13. 兄弟姉妹の学校行事や冠婚葬祭時などに預ける先が見つからないこと	14. 近くに理解のある医療機関や理髪店などが見つからないこと	15. その他	16. 悩みや困ったことはない	
児童	人数	50	39	30	70	42	16	20	16	
	構成比 (%)		23.6	18.4	14.2	33.0	19.8	7.5	9.4	7.5

問 32 お子さんのことで悩んだり困っているときに相談する相手は誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「家族・親戚」が約 70%

・「家族・親戚」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービスの職員」の割合が 56.1%、「同じ悩みや障害のある子の保護者」の割合が 49.5%となっている。

		回答者数	1. 家族・親戚	2. 同じ悩みや障害のある子の保護者	3. 保育園・幼稚園・学校の教職員	4. 医療機関	5. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課、高齢福祉課、福祉総合課（福祉のコンシェルジュ）、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員	8. 相談支援事業所の相談支援専門員	9. 児童発達支援センター（すくすくのびのび園）	10. サービスを供給している事業者
児童	人数	212	149	105	104	67	119	22	-	47	70	14
	構成比 (%)		70.3	49.5	49.1	31.6	56.1	10.4	-	22.2	33.0	6.6
		11. ボランティア等	12. 子ども家庭支援センター（ほねつと）	13. めぐる学校サポートセンター	14. 社会福祉協議会	15. 地域包括支援センター	16. 発達障害支援拠点（ほると）	17. インターネット（SNSを含む）を通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	18. 相談する相手がいない・相談するところがない	19. 相談できるところがわからない	20. その他	
児童	人数	1	2	3	-	-	1	17	7	-	7	
	構成比 (%)	0.5	0.9	1.4	-	-	0.5	8.0	3.3	-	3.3	

問 33 問 32 で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。(1つに○)

「解決できない場合がある」が約 58%

・「解決できない場合がある」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「解決できている」の割合が 29.7%、「わからない」の割合が 12.0%となっている。

		回答者数	1. 解決できている	2. 解決できない場合がある	3. わからない
児童	人数	209	62	122	25
	構成比 (%)		29.7	58.4	12.0

保護者・家族への支援について（問 34）

問 34 保護者や家族への支援は必要ですか。（1つに○）

「現在必要である」が約 38%

・「現在必要である」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.1%、「今後必要になる」の割合が 22.6%となっている。

		回答者数	1. 現在必要である	2. 今後必要になる	3. 必要ない	4. わからない
児童	人数	212	80	48	35	49
	構成比 (%)		37.7	22.6	16.5	23.1

★問 34 で、「1. 現在必要である」または「2. 今後必要になる」と回答した方にお聞きします。

問 34-A どのような支援が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

「専門家への子育て相談」が約 65%

・「専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供」の割合が 50.0%、「ペアレント・メンターによるサポートや情報提供」「保護者への心理的ケアやカウンセリング」の割合が 41.4%となっている。

		回答者数	1. 専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談	2. ペアレント・メンターによるサポートや情報提供	3. 発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供	4. 保護者への心理的ケアやカウンセリング	5. 兄弟姉妹の心理的ケアやカウンセリング	6. レスパイト（在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス）	7. 障害特性に関する情報提供	8. その他
児童	人数	128	83	53	64	53	30	37	42	15
	構成比 (%)		64.8	41.4	50.0	41.4	23.4	28.9	32.8	11.7

防災について（問 35～問 36）

問 35 災害に備えて準備しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「水や食料（医療食）」が約 79%

・「水や食料（医療食）」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「薬や紙おむつなどの医療用品」の割合が 36.7%、「衣類やタオルなどの生活用品」の割合が 34.3%となっている。

		回答者数	1. 水や食料（医療食）	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療用品	4. 杖や車いすなどの福祉用具	5. 非常用発電機など必要な機器の動力	6. 家具への転倒防止器具の取り付け	7. ヘルプカード・防災手帳	8. 防災・救急医療情報キット
児童	人数	210	165	72	77	8	31	42	24	22
	構成比 (%)		78.6	34.3	36.7	3.8	14.8	20.0	11.4	10.5
		9. 避難行動要支援者名簿に登録している	10. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	11. 避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している	12. 家族や親戚、支援者等との連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している	13. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	14. 避難訓練や防災訓練に参加している	15. その他	16. 特に何もしていない	
児童	人数	27	-	42	41	13	13	2	25	
	構成比 (%)	12.9	-	20.0	19.5	6.2	6.2	1.0	11.9	

問 36 災害等により避難所で生活することになった場合、どのような支援が必要ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「他の避難者の理解を得るための支援」が約 47%

・「障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「お子さんに合った食事や必要な薬を入手するための支援」の割合が 36.7%、「避難先で必要な情報を得るための支援」の割合が 30.0%となっている。

		回答者数	1. 避難所までの移動支援	2. お子さんに合った食事や必要な薬を入手するための支援	3. 医療機器の充電や管理をするための支援	4. 避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）を利用するための支援	5. 避難先で必要な情報を得るための支援	6. 障害や症状について他の避難者の理解を得るための支援	7. その他	8. 特にない
児童	人数	207	47	76	21	58	62	97	13	42
	構成比 (%)		22.7	36.7	10.1	28.0	30.0	46.9	6.3	20.3

権利擁護について（問 37～問 40）

問 37 お子さんに関して、この3年間に差別をされたと感じたことはありますか。
（1つに○）

「感じたことはない」約 44%

		回答者数	1. 感じたことがある	2. 感じたことはない	3. わからない
児童	人数	212	79	94	39
	構成比 (%)		37.3	44.3	18.4

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「どこで」差別を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

「保育園や幼稚園・学校」が約 51%

- ・「保育園や幼稚園・学校」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「公共施設」の割合が 28.9%、「お店」「交通機関」の割合が 27.6%となっている。

		回答者数	1. 家	2. 保育園や幼稚園・学校	3. 職場	4. 通所・入所施設	5. お店	6. 塾や習い事	7. 公共施設	8. 医療施設	9. 交通機関	10. その他
児童	人数	76	6	39	3	2	21	12	22	5	21	7
	構成比 (%)		7.9	51.3	3.9	2.6	27.6	15.8	28.9	6.6	27.6	9.2

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「誰から」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「知らない人」が約 37%

・「知らない人」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「学校や施設の教職員」の割合が 30.8%、「ほかの客・利用者」の割合が 24.4%となっている。

		回答者数	1. 家族・親族	2. 友人・知人	3. 学校や施設の教職員	4. 勤務先の経営者・同僚	5. 店員等従業員	6. ほかの客・利用者	7. 近隣の人	8. 知らない人	9. その他
児童	人数	78	10	18	24	4	16	19	8	29	6
	構成比 (%)		12.8	23.1	30.8	5.1	20.5	24.4	10.3	37.2	7.7

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-A 「どのような」差別を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「いやな気持ちになる発言・暴言」が約 79%

・「いやな気持ちになる発言・暴言」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「入れてもらえない・対応してもらえない」の割合が 41.8%、「後回し・別扱い」の割合が 24.1%となっている。

		回答者数	1. いやな気持ちになる発言・暴言	2. 入れてもらえない・対応してもらえない	3. 手伝ってもらえない	4. 後回し・別扱い	5. 建物の設備などに配慮がない	6. 必要な情報を得られない・意思を伝えられない	7. その他
児童	人数	79	62	33	14	19	7	6	12
	構成比 (%)		78.5	41.8	17.7	24.1	8.9	7.6	15.2

★問 37 で、「1. 感じたことがある」と回答した方にお聞きします。

問 37-B 差別をされたとき、誰またはどのようなところに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「家族」が約 56%、「誰にも相談できなかった」が約 30%

・「家族」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「誰にも相談できなかった」の割合が 29.9%、「友人・知人」の割合が 26.0%となっている。

		回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人	4. 近所の人	5. 保育園や幼稚園、学校などの教職員	6. 障害施策推進課、障害者支援課(障害者虐待防止センター)、高齢福祉課、福祉総合課(福祉のコンシェルジュ)、保健所、児童相談所などの職員	7. 民生委員・児童委員
児童	人数	77	43	7	20	2	10	4	1
	構成比 (%)		55.8	9.1	26.0	2.6	13.0	5.2	1.3
		8. ボランティア・NPO職員	9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 福祉サービス事業者	11. 障害者団体	12. 医療関係者	13. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	14. その他	15. 誰にも相談できなかった
児童	人数	1	7	1	5	-	5	5	23
	構成比 (%)	1.3	9.1	1.3	6.5	-	6.5	6.5	29.9

問 38 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つに○)

「法律名も内容も知らない」が59%

		回答者数	1. 法律名も内容も知っている	2. 法律名は知っているが、内容は知らない	3. 法律名も内容も知らない
児童	人数	210	40	46	124
	構成比 (%)		19.0	21.9	59.0

問 39 障害や高齢化などにより、自分ひとりで判断することが難しい方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。または、利用したいですか。(1つに○)

「どのような制度か知らない」が約40%

- ・「どのような制度か知らない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」の割合が30.8%、「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」の割合が27.9%となっている。

		回答者数	1. 成年後見制度をすでに利用している	2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	4. どのような制度か知らない
児童	人数	208	2	58	64	84
	構成比 (%)		1.0	27.9	30.8	40.4

問 40 あなたは、「障害者虐待防止センター」に相談や通報ができることを知っていますか。(1つに○)

「知らない」が約72%

		回答者数	1. 知っている	2. 知らない
児童	人数	210	58	152
	構成比 (%)		27.6	72.4

障害がある人のための取り組みについて（問 41）

問 41 あなたは、障害のある方が、必要な支援を受けながら地域で自立した生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「相談支援の充実」が76%

「障害への理解を促進する教育や交流の促進」の割合が約56%

・「相談支援の充実」の割合が76.0%と最も高く、次いで「障害特性にあった適切な保育、教育の充実」の割合が72.1%、「障害への理解を促進する教育や交流の促進」の割合が56.3%となっている。

		回答者数	1. 相談支援の充実	2. 情報保障（必要な情報の取得や円滑な意思疎通のための取組）の充実	3. 機能訓練や生活訓練の充実	4. 日中活動の場である通所施設の整備	5. ホームヘルプサービスや訪問看護、重症心身障害者（児）、在宅レスパイト、入浴サービスなどの在宅生活に必要なサービスの充実	6. 短期入所の充実	7. 日常生活に必要な移動支援や同行援護の充実	8. 住宅情報の提供や障害者向け住宅の充実
児童	人数	208	158	102	97	108	69	64	83	81
	構成比 (%)		76.0	49.0	46.6	51.9	33.2	30.8	39.9	38.9

		9. グループホームなど地域での生活の場の整備	10. 障害の早期発見・早期療育体制の充実	11. 障害特性にあった適切な保育、教育の充実	12. 医療的ケアを必要とする人への支援の充実	13. 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	14. ボランティア活動などの地域活動の促進	15. ユニバーサルデザインによる暮らしやすいまちづくりや利用しやすい交通機関等の整備	16. 障害への理解を促進する教育や交流の促進	17. 障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発
児童	人数	80	108	150	69	100	43	79	117	96
	構成比 (%)	38.5	51.9	72.1	33.2	48.1	20.7	38.0	56.3	46.2

		18. 人権を守る仕組みの充実	19. 緊急時や災害時の対策促進	20. 福祉人材の確保	21. ヤングケアラーに対する支援の充実	22. ひきこもりの相談支援の充実	23. その他	24. 特にない
児童	人数	72	65	84	65	64	14	3
	構成比 (%)	34.6	31.3	40.4	31.3	30.8	6.7	1.4

目黒区障害者計画策定に関する調査報告書（概要版）

主要印刷物番号

4-56号

令和5年3月

発行：目黒区

編集：目黒区 健康福祉部 障害施策推進課

東京都目黒区上目黒二丁目19番15号

電話：03（5722）9848（直通）

調査委託先 株式会社名豊